

平成27年度第3回教科用図書第10採択地区教育委員会協議会の協議の経過

平成27年7月23日(木)

発 言 者	内 容
事務局長	<p>ただ今から、「平成27年度3回教科用図書第10採択地区教育委員会」を開催いたします。本日の議事の1つ目は「平成28年度から使用する中学校用教科用図書に係る1種選定に関する協議及び選定について」、2つ目は「選定教科用図書の確認について」、3つ目は「平成27年度教科書展示会における意見等について」であります。</p> <p>開会に当たり会長から挨拶をいただきます。</p>
豊島会長	<p>本日は、調査委員会における調査研究結果の報告を受け、平成28年度から中学校で使用する教科用図書を選定することとなっておりますので、よろしくお願ひします。それでは、早速ですが、進行等について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局 (天野課長)	<p>この後、種目ごとに選定していただくこととなりますが、選定までの進め方・タイムスケジュールについてご説明申し上げます。</p> <p>今回、選定しなければならない中学校用教科用図書は、国語から外国語まで、15種でございます。これら1種目ごとに、「各小委員会委員長からの説明を受け、質疑、協議を行い、選定について決定する」という流れで進めてまいります。</p> <p>また、特別支援学級で使用する教科用図書(一般図書)についても調査研究を行いましたので、その結果を報告いたします。</p> <p>なお、選定までの時間については、1種目1者を選定するまでに15分から20分を予定しておりますので、よろしくお願ひいたします。協議する教科等の順番は、お手元の開催要項にお示ししております。</p> <p>それでは、この後、会長の進行でお願いいたします。</p>
豊島会長	<p>それでは、この後、調査委員会からの報告につき、選定となります。早速ですが、最初の小委員長さんにお入り願ひします。</p> <p>■ 美 術</p> <p>報 告</p>
豊島会長	<p>「美術」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
千葉小委員長	<p>中学校「美術」の小委員長の壮瞥町立壮瞥中学校校長の千葉光弘です。よろしくお願ひいたします。</p> <p>中学校「美術」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。各者の詳細な特色については、報告書をご覧ください。</p> <p>はじめに、発行者数についてです。中学校「美術」小委員会では、3者の教科書見本本について調査研究を行いました。</p> <p>次に取扱内容について報告します。</p> <p>絵や彫刻などについては、開隆堂の1学年において、身の回りにあるものや自然物をよく観察して描いたり、動物の動きや姿の特徴をとらえ立体に表したりする活動を通して、豊かに発想し、構想する能力や形や色彩などによる表現の技法を身に付け、意図に応じて創意工夫し、美しく表現する活動が取り上げられています。</p> <p>デザインや工芸などについては、光村の第2・3学年において、情報やイメージを伝えるキャラクターを考えたり、季節感を考えて和菓子やうちわなどの工芸品のデザインを工夫したりする活動を通して、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し、創造的に表現する活動が取り上げられています。</p>

	<p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、日文の第1学年において、巻末のページにおいて、思い描いたイメージに合わせて表現を工夫するための多様な表現技法を示したり、鉛筆や水彩絵の具の使い方を説明したりするなどの知識・技能を習得する活動が取り上げられています。</p> <p>次に、内容の排列、構成、分量について報告します。</p> <p>内容の排列、構成については、3者共に、各学年において、絵や彫刻、デザイン 工芸、鑑賞の各分野において、学校や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択したり、発展的に学習したりできるような工夫がされており。また、分量についても、3者共に、現行教科書より6%~25%程度ページ数が増加しています。</p> <p>次に、使用上の配慮等について報告します。</p> <p>学習意欲を高める工夫について、開隆堂では、第2・3学年で、巻頭で「美術はいつも生活や暮らしの中に」として、美術で身に付けた力を生かして社会で働く人たちを紹介し、暮らしや気持ちを豊かにするデザインの題材で、アイヌ民族の伝統的な文様の「ルウンペ」を示すなど、北海道に関する作品等を紹介し、学習意欲を高める工夫がなされています。</p> <p>主体的な学習への工夫については、光村では、全学年で、題材の冒頭で生徒に身に付けさせたい力について、題材のねらいとして目標をマークや囲みで示したり、生活を豊かにするデザインや工芸に関する題材など、実生活と関連した内容を位置付けたりするなど、主体的な学習への工夫がなされています。</p> <p>使用上の便宜については、日文では、全学年で、各題材の内容を「絵や彫刻など」、「デザインや工芸など」、「資料」ごとに色で示したり、用具の取扱いなど、作品をつくる上での安全・注意に関する内容をマークや囲みで示したり、全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい文字の大きさやレイアウトにするなど、使用上の便宜が図られています。以上で、美術小委員会の報告を終了します。</p>
豊島会長	ただ今、説明がありましたが、何か質問はあるでしょうか。
出席委員	3者の中で特に特徴的なものはあるか。
千葉委員長	3者とも工夫しており、どこが突出しているということはありません。
出席委員	鑑賞活動について、生徒の興味・関心を喚起させるような工夫はどのようなものがあるか。
千葉委員長	開隆堂の教科書では、22ページ、27ページで素材を実寸で提示。下の教科書の46ページについても、作品を実寸で大きく提示しています。光村も1年の教科書22ページを見開きとし、広げて大きく見せています。日文の教科書も浮世絵の版画を和紙に印刷しています。このように三者とも工夫が見られます。
出席委員	ユニバーサルデザインについてはどうか。
千葉委員長	三者とも色の使い方など、ユニバーサルデザインに対応しています。
豊島会長	他に質問はありませんか。
出席委員	ありません。
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。お引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	小委員長からの報告と質問に対する回答を参考にし、一者選定の協議を行います。委員から

出席委員	<p>のご意見をお願いします。</p> <p>三者とも、甲乙つけがたいが、美術が日常生活に結び付いている点で言えば、光村図書がその点をよく考えていると思うし、管内には免許外で美術を教えている教員もいることから、多くの題材が提示されている現行の光村図書が良いと思われる。</p>
豊島会長	<p style="text-align: center;">選 定</p> <p>それでは、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活に関連付け、様々な題材が取り上げられており、免許外の教員も指導しやすい。 ・生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。 <p>という理由で、「光村図書出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	<p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは、「美術」については「光村図書出版」に決定することを確認いたします。</p> <p style="text-align: center;">■数 学</p> <p style="text-align: center;">報 告</p>
豊島会長	<p>「数学」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
大年委員長	<p>中学校「数学」小委員会委員長の洞爺湖町立洞爺湖温泉中学校校長の大年です。</p> <p>中学校「数学」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。まず初めに発行者数ですが、7者の見本本について調査研究を行いました。</p> <p>まず、東京書籍ですが、「取扱内容」については、「数と式」の第1学年でペットボトルキャップの総数を求める等式に数を代入して両辺を比べる活動を通して等式が成り立つ場合を調べ、方程式を理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年で「補充の問題」で直線が交わった時にできる角の大きさを求めるなどの補足的な学習活動や「社会とつながる」で桜の開花日を図を用いて予想するなどの発展的な学習が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列、分量」については、資料のとおりです。</p> <p>「使用上の配慮等」については、「Q」マークの横に活動のねらいを示した「考えてみよう」「説明してみよう」のフレーズを設けたり、本文中に学習の定着状況に合わせて選択して取り組むことができる「もっと練習」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。</p> <p>次に大日本です。「取扱内容」については、数と式の第1学年で作品やマグネットの数を求める等式に数値を代入し、両辺を調べる活動を通して等式が成り立つ場合を調べ、方程式について理解し、一元一次方程式を用いる学習などが取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年の「まとめの問題」で連立方程式を使って求める数量を考えるなどの補足的な学習活動や「もっと数学」で三つの文字を含む連立方程式の解を求めるなどの発展的な学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列・分量」については、資料のとおりです。</p> <p>「使用上の配慮等」については、本文中に学習の定着状況に合わせ選択できる「プラス・ワン」を設けたり、巻末に1年間の学習内容を振り返る「まとめの問題」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができる工夫があります。</p> <p>次に学校図書です。「取扱内容」については、数と式について、第1学年でつり合うように天秤に載せたものの数量を表した等式にいろいろな値を代入して両辺を比べる活動を通して等式が成り立つ場合を調べ、方程式について理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが</p>

取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究」については、第2学年「2年の復習」で1次関数を使って自転車の速さを求めるなどの補充的学習活動や「深めよう」で新車を購入する「経費を一次関数を用いて比較するなどの発展的な学習活動が取り上げられています。

「内容の構成・排列・分量」については、資料のとおりです。

「使用上の配慮等」については、章の導入に話し合い活動や観察、操作、実験など、数学的活動の場面を設けたり、巻末に課題学習で扱う「課題」のページを設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

次に教育出版について説明します。「取扱内容」については、「数と式」の第1学年で2種類のテーブルを並べるイスの合計を表した等式にいろいろな値を代入し、両辺を比べる活動を通して等式が成り立つ場合を調べ方程式について理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年の「たしかめの補充問題」において、連立方程式を使って2種類の品物の数を求めるなどの補充的な学習活動や「ジャンプ」において立方体を平面で切った切り口の形を説明するなどの発展的な学習活動が取り上げられています。

「内容の構成・排列・分量」については、資料のとおりです。

「使用上の配慮等」については、本文中に既習事項で定着していない内容を前ページで確認できる「もどって確認」を設けたり、本文中に生徒の興味・関心に応じて取り組むことができる「チャレンジコーナー」を設けたりするなど、主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

次に啓林館について説明します。「取扱内容」については、数と式について、第1学年で、集めた葉書の枚数を既習事項の図を使って求め、その値を等式に代入し、等式が成り立つ文字の値を確認する活動を通して方程式を理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年で、「くしかえし練習」において、3枚の硬貨の表と裏の出方を調べるなどの補充的な学習活動や、「数学広場」において、3つの文字を含む連立方程式の解き方を考えるなどの発展的な学習活動が取り上げられています。

「内容の構成・排列・分量」については、資料のとおりです。

「使用上の配慮等」では本文中にこれまで学習したことを振り返ってまとめる「自分の考えをまとめよう」を設けたり、別冊に関連する既習内容を確保することができる「学びにつなげよう」を設けたりするなど、主体的に学習するような工夫がなされています。

次に数研について説明します。「取扱内容」については、数と式について、第1学年で釣り合っている天秤に載っている角砂糖の重さを求める等式にいろいろな数を代入して両辺を比べる活動を通して等式が成り立つ場合を調べ、方程式について理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年「確認しよう」で連続する三つの偶数の和が6の倍数になることを説明するなどの補充的な学習活動や「発展」において連立三元一次方程式の解き方を考えるなどの発展的な取り上げられています。

「内容の構成・排列・分量」については、資料のとおりです。

「使用上の配慮等」については、巻頭に既習事項を確認できる「クイックチャージ」などを設けたり、巻末に学習を深めることができる「ぐんぐんのぼそうチャレンジ編」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

最後に日文について説明します。「取扱内容」については、数と式について、第1学年で隣り合う二つの数の和を上段に書き入れていく時の関係を表した等式にいろいろな数を代入して両辺を比べる活動を通して、等式が成り立つ場合を調べ、方程式について理解し、一元一次方程式を用いる学習活動などが取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、第2学年で「力をのぼそう」において、三角形の内角の和の証明から分かることを考えるなどの補充的な学習活動や「深める数

	<p>学」において連立三元一次方程式の解き方を考えるなどの発展的な学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・配列、分量」については、資料のとおりです。</p> <p>「使用上の配慮等」については、巻末に数学の見方や考え方をさらに広げ、課題学習や選択教科で扱うことができる「数学研究室」を設けたり、本文の横欄に理解の速い生徒のための追加問題である「チャレンジ」を設けたりするなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。</p> <p>以上で「数学」小委員会の報告を終了します。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受け、何か質問はありますか。
出席委員	数学は生徒間の能力の差がある教科だと思うが、そうした差に対応した補充問題や発展問題について、何か特徴的なことはあるか。
大年委員長	各者に差はなく、導入部分で身近な問題を取り上げ、興味・関心を喚起し、その後、既習事項、例題、問題というように段階を追って配列し、スムーズに学習できるよう各者工夫しています。また、章末にはやさしい問題、巻末には1年間を振り返り、徐々に難しい問題となるよう配列をしています。
豊島会長	そのほか何か質問はありませんか。
出席委員	小中の接続への配慮はどのようになっているか。
大年委員長	1年生の教科書については、新しい単元に入る前に小学校の復習を取り上げている教科書もあります。
出席委員	自ら学ぶための創意工夫はどうか。
大年委員長	どの教科書についても、巻末にまとめの問題などがあり、解答もついているので、自宅で自学自習ができます。
出席委員	本採択地区では東京書籍を使っているが、委員長の勤務経験がある苫小牧は啓林館を使っている。基礎基本の習得の面ではどのような違いがあると考えるか。
大年委員長	各者とも、生徒の理解の度合いによって学習できるようになっていると考えます。
豊島会長	他に質問はありませんか。
出席委員	なし
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。お引き取りください。
	協 議
豊島会長	小委員長からの報告と、質問に対する回答を参考とし、1者選定の協議を行います。委員からのご意見をお願いします。
出席委員	現在使っている東書の教科書について、1点目は学習課題によって、数学的活動ができるように工夫されている。また、2点目として、つまづきに対するきめ細やかな対応がなされ、個人差への対応ができています。基礎・基本が身に付くように既習事項の確認や巻末に間違いの多

い問題への対応等、誤答対策ができています。このようなことから、東書の教科書の優位性を感じる。また、自ら考える学習についても工夫もあり、以上のことから、引き続き、東書の教科書を使用すべきと考える。

選 定

豊島会長

それでは、中学校「数学」については、
・学習の定着状況に合わせて選択して取り組むことができる課題を設定するなど、基礎・基本を確実に習得できるよう工夫されている。
・「数学の窓」で学習内容に関連した話題を掲載するなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されている。
という理由で「東京書籍」に決定してよろしいでしょうか。

出席委員

よろしい。

豊島会長

それでは、「数学」については、「東京書籍」に決定することを確認いたします。

■社 会（地理的分野）

報 告

豊島会長

社会・地理的分野の教科書見本本の調査研究の結果について説明をお願いします。

佐々木小委員長

中学校社会「地理的分野」小委員会委員長の洞爺湖町立虻田中学校教頭の佐々木淳です。
よろしくお願いたします。

中学校社会「地理的分野」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明いたします。

まず発行者数についてですが、中学校社会「地理的分野」小委員会では、4者の教科書見本本について調査研究を行いました。各発行者の特徴について報告いたします。

東京書籍の「取扱内容」については、「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の形や大きさ、国境の決まり方から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動が取り上げられています。「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示すなど日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動が取り上げられています。章末や節末に、学習したことを文章でまとめて、説明する活動を位置付けています。また、地形図の読図で「地理スキル・アップ」として延べ4ページにわたり具体例とともに掲載したり、「身近な地域の調査」の一環として新旧の地形図を比較することで地域の変化を読み取ったりする学習活動が取り上げられています。分量については、「世界の様々な地域」は122ページ、「日本の様々な地域」は155ページであり、総ページ数は295ページで、前回より約12%増となっています。「地理スキル・アップ」で、資料等の読み取り方を身に付ける活動や、「えんぴつマーク」で学習を深めるための作業や活動を工夫しています。

次に教育出版の「取扱内容」について報告いたします。「世界の地域構成」において、地球儀や世界地図を活用して大陸と海洋のおよその位置から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の成り立ちから世界の国や地域についての関心を高めたりする活動が取り上げられています。「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県の名称と位置を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から位置を示したりするなど、日本の領域をめぐる問題を理解する活動が取り上げられています。章末や節末に、学習したことを比較し関連付けてまとめ、説明する活動を位置付けています。また、地形図の読図については4ページにわたって記載し、冒頭部分で小学校における学習内容

	<p>を確認したり、「身近な地域の調査」で詳細な学習活動を行ったりしています。分量については、「世界の様々な地域」は114 ページ、「日本の様々な地域」は141 ページであり、総ページ数は279 ページで、前回と同様となっています。「地理にアプローチ」で、地図やグラフ等の見方を身に付ける活動や、「読み解こう」で、資料を読み取り、考えを深める活動を工夫しています。</p> <p>帝国書院の「取扱内容」について報告します。「世界の地域構成」において、地球規模の大陸と海洋の大まかな形状と位置関係から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗の由来から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動が取り上げられています。</p> <p>「日本の地域構成」において、地図を活用し、日本と世界との時差や日本の都道府県と地域区分を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真、歴史的資料等から日本の領域をめぐる問題を理解する活動が取り上げられています。章末や節末に、学習したことを図や文章でまとめ、説明する活動を位置付けています。また、地形図の読図では「技能をみがく」として4ページにわたり具体例とともに掲載したり、「やってみよう」で技能を活用する学習活動を取り上げたりしている。分量については「世界の様々な地域」は118 ページ「日本の様々な地域」は157 ページであり、総ページ数は280 ページで、前回と同様となっています。(B5判からA4判に変更)「技能をみがく」で、写真やグラフ等の見方を身に付ける活動や、「やってみよう」で、学習したことを活用する活動を工夫しています。</p> <p>日文の「取扱内容」について報告いたします。「世界の地域構成」において、宇宙から撮影した地球の4つの写真を見て大陸と海洋の分布から世界の地域構成を大観したり、世界の主な国の国名や国旗、国境から世界の国や地域についての関心を高めたりする活動が取り上げられています。「日本の地域構成」において、地図を活用して、日本と世界との時差や都道府県と県庁所在地の名称を調べたり、北方領土や竹島、尖閣諸島について、地図や写真等から、日本の領域をめぐる問題を理解したりする活動が取り上げられています。章末や節末に、学習したことを文章でまとめ、説明する活動を位置付けています。また、地形図の読図では「スキルUP」として4ページにわたりまとめて学習したり、「+α」として地図のデジタル化に触れ、地図の活用の多様化についての学習活動を取り上げたりしている。分量については、「世界の様々な地域」は112 ページ、「日本の様々な地域」は156 ページであり、総ページ数は281 ページで、前回より約8%減となっています。「スキルUP」で、地図や写真の活用の仕方を身に付ける活動や、「トライ」で、学習した内容を深める活動を工夫しています。以上、報告いたします。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受けて、何か質問はあるでしょうか。
出席委員	地理の中で、領土問題の扱いと各者の押さえ、それと、震災後の写真を含めた取扱いについてはどのようにしているか教えてほしい。
佐々木小委員長	領土問題については、日文と東京書籍については「隣国との調整中」、教育出版と帝国書院については、「協議中」と記載されています。震災については、どの教科書も取り上げ、震災後の写真もあり、防災、減災の視点から述べられており、ハザードマップなどもついています。
出席委員	問題解決的な学習について、各者どのような扱いとなっているか教えてほしい。
佐々木小委員長	章末に自分で調べる活動を取り上げているものがあります。
出席委員	胆振管内の生徒の興味・関心を喚起するような工夫はどのようになされているのか。
佐々木小委員長	北海道に関わる学習として、アイヌの人たちについての歴史や地名を取り上げたり、現代のエネルギー問題として太陽光発電などの再生可能エネルギーを取り上げたりして、身近な生活の問題として調べることができるようになっています。また、各者、資料やグラフ、写真などを用いて、それぞれが興味・関心が持てるよう工夫しています。

豊島会長	他に質問はありませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。お引き取りください。
	協 議
豊島会長	小委員会委員長からの報告と、質問に対する回答を参考とし、一者選定の協議を行います。委員からのご意見をお願いします。
出席委員	地理的分野でも歴史・文化についての愛着を養うことが大切であり、その点からも領土問題の記述が気になるところである。領土問題において、北方領土にしても、竹島、尖閣諸島にしても、歴史的に我が国固有の領土であったことをしっかり記述すべきであるし、歴史と文化をしっかりと子どもたちに定着させるべきと考える。その点で東書の記述が優れていると思う。また、道教委の採択参考資料でも、自ら進んで学習するための題材についても、東書の題材の数が群を抜いている。このようなことから教科書の優位性は東書にあると考える。
出席委員	東書は、日本の地域構成に関わり、領土問題や各地域の記述がきちんとしており、また、火山噴火等への防災教育や災害を理解させることなど、火山との共生の点、アイヌ民族の文化等、地域の文化の記述が優れていると考える。
豊島会長	二人の委員から東書という意見が出されましたがいかがですか。
出席委員	基本的には二人の委員さんの意見のとおりだと思う。領土問題、減災に向けての取組などについてもそうだが、ただ、小学校が教育出版を使っているので、小学校とのかかわりはどうなのかを考えていかなければならないと思うので、従来どおりの教育出版でよいと思う。
豊島会長	二つの意見があるが、いかがでしょうか。
出席委員	小中の連携が大切だと思う。地理の学習についても、歴史認識が必要である。歴史を学びながら地理を学ぶ。広い意識で歴史・地理の学習をする必要があることから、教育出版がよいと思う。
出席委員	従来どおりでいい。
出席委員	歴史との関連を考えて、現行どおりがよい。
出席委員	皆さんの意見を聞いていて、従来どおりでよいと考える。
出席委員	ご指摘のとおり、歴史と地理を関連付けて考えるべきであり、地理・歴史・公民の3つを一緒に比較する必要があると考えます。今回はその点を考慮し、選定することが望ましいと考えます。
出席委員	アイヌ文化の記述については教育出版が優れていると考えます。
	選 定
豊島会長	それでは、委員の多くが現行どおりという意見であり、

出席委員	<ul style="list-style-type: none"> ・北方領土や竹島、尖閣諸島など、我が国固有の領土を理解させる記述が充実している。 ・アイヌの人たちの歴史や文化を理解しやすい内容となっている。 <p>という理由で「教育出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
豊島会長	<p>よろしい。</p> <p>それでは、「社会地理的分野」については「教育出版」に決定することを確認いたします。</p>
	<p>■社 会（地図）</p> <p>報 告</p>
豊島会長	<p>社会科「地図」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
佐々木小委員長	<p>地図見本本について報告します。</p> <p>東京書籍の「取扱内容」について報告いたします。「世界の資料図」において、国際協力機構による環境保全の取組について考えたり、世界の生活・文化を調べたりする活動が取り上げられています。「日本の資料図」において、地理的条件と産業の分布を関連付けて読み取ったり、日本の火山と地震の分布から、災害と向き合う方策を考えたりする活動が取り上げられています。巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、複数の資料図を結び付けてヨーロッパの自然環境や産業の特色を読み取ったり、EU加盟国が増えた影響をヨーロッパの自動車工場の分布などの資料図と関連付けて考察したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。分量については「世界の諸地域」は57ページ「日本の諸地域」は63ページ「資料・統計等」は60ページであり、総ページは184ページで、前回より約21%増となっています。索引が地名の他に「事項別」「資料」があり、項目を見つけやすくなっていたり、巻末に日本と世界の資料図や196か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したりしています。歴史的な分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史の舞台や国際機関への参加国を地図上に示しています。また、地図や資料・グラフ等の配置がはっきりしています。</p> <p>次に帝国書院について、まず「取扱内容」について報告いたします。「世界の資料図」において、東アジア大陸と日本の間にある古代からの結び付きを調べたり、農作物の生産地域と伝統料理の関連を考えたりする活動が取り上げられています。「日本の資料図」において、農業や工業の分布の特色を読み取ったり、日本の地震と火山の分布から、様々な災害とその対策について調べたりする活動が取り上げられています。巻頭の地図帳の使い方の特集ページにおいて、オセアニア州の資料図とグラフを関連付けてオーストラリアの自然や産業の特色を考えたり、北陸3県の特色を自然や人口、産業などの複数の考察の視点からとらえ、白地図を活用してまとめたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。分量については「世界の諸地域」は59ページ「日本の諸地域」は66ページ「資料・統計等」は47ページであり、総ページは176ページで、前回より約7%増となっています。索引の項目名の前に記号で関連分野を明記されていたり、巻末に日本と世界の資料図や196か国及び47都道府県の統計をまとめて掲載したりしています。歴史的な分野や公民的分野でも活用できるよう、主な歴史地名や国際機関への参加国を地図上に示しています。また、地図の配色がはっきりしており、ユニバーサルデザインに配慮されています。以上、報告いたします。</p>
豊島会長	<p>ただ今の報告を受けて、何か質問はあるでしょうか。</p>
出席委員	<p>地図は自然環境や資源を知る上で大切な資料と考える。自然環境に関わって委員長も活火山である有珠山のふもとの中学校に勤務している。日本の活火山の定義があるが、出典の違いによって、地図の表記に違いがある。2者の活火山の扱いについて、委員会では話し合われたか。</p>

佐々木委員長	小委員会では、防災、ジオパークの観点で話し合いました。帝国書院の地図帳では、日本の災害、防災という点で活火山が扱われるだろうということになり、東京書籍については、東日本大震災や防災という点で関連付けて活火山を扱うことができるということになりました。
出席委員	帝国書院の地図帳で胆振のこの近辺の身近な山として、鷲別岳、室蘭岳、オロフレ山などは赤い三角表記になっていて、それは活火山ではない。今、活火山を理解するということが大切と思われるが、そのような点で生徒が活火山を調べたいと言った時、どう対応するのか。
佐々木小委員長	資料として扱う活動として、地図帳、インターネットの活用、理科との関連、あるいは教科書等の扱いを含めて、資料をどう活用するかについては小委員会で話し合いましたが、それ以外で具体的に活火山の扱いについて話し合っておりません。
豊島会長	その他、質問はありませんか、
出席委員	地図という位置付けという観点ではなく、資料としての使い方で、帝国、東京書籍はどのように考えるか。
佐々木委員長	資料としての使い方について、東京書籍については、全体的にグラフや資料が見やすく配置されていて、探しやすいという意見がありました。帝国書院については、データとして、豊富な内容であり、教科書の内容が扱いやすいという意見がありました。
豊島会長	他に質問はございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	委員長は大変ご苦労様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。何かご意見はございませんでしょうか。
出席委員	地図については、活火山をしっかりと表記することが大事だと思っている。最近も昨年9月の御嶽山の噴火によって、戦後最大の死者・行方不明者を出した。また、最近、火山活動が活発化している。このようなことから、火山に対する正しい知識や火山の分布についても知っておく必要があると考える。平成15年1月には気象庁の噴火予知連の警戒レベル1の表現で「活火山」の言葉が使われています。胆振管内の火山について帝国書院の地図帳では、オロフレ山が火山として表記されている。東書については、このような気象庁の扱いに基づいて火山が正しく表記されている。身近な山が火山かどうかをきちんと知っておく必要がある。また、昨年の小学校の地図についても地図の縮尺が問題になったが、今年、東書の地図帳についてはその点も改善されている。そのような点からも、ぜひ東書の地図帳を選定すべき。ただし、意見交換の中で出た多くの意見に基づき選定されればいいと思っている。
出席委員	火山の表記は赤い三角なのか。
出席委員	そうです。オロフレ山もそうなっている。これだけ活動的な火山がある中で活火山をきちんと押さえておく必要がある。気象庁においては、本年5月18日に警戒レベルの考え方を提示した際、従来の定義を変えて、活火山であることに留意とした。活火山は110ぐらいあり、日本の百名山の30%が活火山であることから、活火山の表記は大切だと思う。

出席委員	胆振には三つの火山があるが、クッタラ火山にいたっては、地図に表記すらなされていない。この4年間、使う上で、このような点を検討すべきと思われる。
出席委員	活火山の押さえは順当と考える、教員がそのことを知らなかったら、例えば東書の地図帳を選定したとしても、正しく指導できるのかが疑問である。選定に当たっては、一番正しい物にすべきと考えるが、実際に使う時には、火山について地図に表記されていることを認識し、それをわかった上で使うべきであり、このことを付帯事項として明記すべき。
出席委員	活火山で検定を通っているということでよいか。
出席委員	通っている。東書では活火山と表記している。活火山という言葉は認識すべきであり、理科ではきちんと定義されている。
出席委員	身近な問題に関し、表記の違いがあるのはインパクトがある。道教委の採択参考資料については、自然災害、防災に関わり、指導上、活火山という形では取り上げられていない。
出席委員	東書では4Pで地図記号として、活火山という表記がある。
豊島会長	それでは選定してよろしいでしょうか。
出席委員	この問題は地図の問題だけではないように思う。5月18日の気象庁の活火山の扱いの発表の前に検定があり、間に合わないので、このような点については、補助教材等を使って対応する必要があると考える。
出席委員	その他の面では、2者とも大きく違いはなく、現行どおりでよい。
	選 定
豊島会長	それでは、 ・アイヌ語に由来する地名の資料を掲載するなど、北海道に対する興味・関心を高める資料が充実している。 ・公民や歴史の学習でも活用できるよう工夫されている。 という理由でという理由で「帝国書院」に決定してよろしいでしょうか。
出席委員	よろしい。
豊島会長	それでは、「地図」については「帝国書院」に決定することを確認いたします。
	■ 音 楽 (音楽一般)
	報 告
豊島会長	音楽一般の教科書見本の調査研究の結果について説明をお願いします。
工藤小委員長	中学校「音楽」小委員会委員長のむかわ町立穂別中学校教頭の工藤です。 中学校「音楽」小委員会では、2者の教科書見本について調査研究を行いました。各発行者の特徴について御説明いたします。 はじめに「教育出版」です。 まず、「取扱内容」についてですが、学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動で、自分で曲を作るなどの創作については、第1学年で、身近な言葉のリズムの特徴を理解して旋律を

創ったり、日本語の抑揚を生かした旋律をつくったりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する活動、第2・3学年で、動機を変化させながら旋律を創ったり、地域の名物や名所を紹介するCMソングをつくったりする活動を通して、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する活動が取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、歌の雰囲気や感じ取った気持ちを表現するために声の出し方を工夫したり、指揮の仕方について体験する学習を取り入れたり、音楽を形づくっている要素のはたらきについて話し合ったりするなど、より良い表現を探究する学習活動が取り上げられています。

「内容の排列・構成・分量等」については、内容の構成・排列について、第1学年で、斉唱や簡単な重唱を通して、曲の構成や音の重なりを理解する学習の後に、混声合唱を通して、曲想や歌詞の内容を味わいながら歌唱する学習活動が取り上げられています。内容の分量については、歌唱教材、器楽教材については前回と同程度、創作教材、鑑賞教材については、前回よりもページ数が増え、総ページ数は約14%増となっております。

「使用上の配慮等」については、全学年で言語活動の充実を図るため、鑑賞の活動において紹介文を書くことを行ったり、学習活動のヒントをキャラクターによる「吹き出し」で掲載したりするなど、生徒が主体的に取り組むことができるように工夫がなされている、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、判別しやすい配色やレイアウト、文字の大きさにするなどの工夫がなされております。

続きまして、「教育芸術社」です。

「取扱内容」については、学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動で、歌唱については、第1学年で、斉唱から混声三部合唱までを扱い、主旋律や他の旋律のとかかわりを意識しながら歌ったり、情景を思い浮かべながら日本の歌曲や世界の歌を歌ったりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する学習活動、第2・3学年で、斉唱から混声四部合唱までを扱い、曲想を味わい、声部の重なり方などを理解しながら歌ったり、曲の特徴を生かしながら日本の歌曲や世界の歌を歌ったりする活動を通して、表現の技能を伸ばし、創意工夫して表現する学習活動が取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、歌の雰囲気や感じ取った気持ちを表現するために声の出し方を工夫したり、指揮の仕方について体験する学習を取り入れたり、音楽を形づくっている要素のはたらきについて話し合ったりするなど、よりよい表現を探究する学習活動が取り上げられています。

「内容の排列・構成・分量等」については、内容の構成・排列について、第1学年で、斉唱や簡単な重唱を通して、曲の構成や音の重なりを理解する学習の後に、混声合唱を通して、曲想や歌詞の内容を味わいながら歌唱する学習活動が取り上げられています。内容の分量については、歌唱教材、器楽教材、創作教材、鑑賞教材、総ページ数ともに前回と同程度となっております。

「使用上の配慮等」については、全学年で「音楽の約束」のまとめのページに各学年で学習した〔共通事項〕を示したり、学習参考資料として各種コラムや作曲家年表、西洋の楽器、和楽器などをまとめて掲載したりしているほか、学習内容が一目で分かるよう「音楽学習MAP」を新設するなどし、学習内容と各教材との関連に配慮がなされています。また、全ての生徒が学習しやすいよう、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、判読しやすいレイアウトにするなどの工夫がなされております。以上、音楽一般の2者に対する説明を終わります。

豊島会長

ただ今の報告を受けて何か質問はございませんか。

出席委員

音楽一般では、教科書の内容は表現と鑑賞に分けられると思うが、両教科書で分量の違いはあるか。

工藤小委員長

両者とも、教科書の構成としては、前半が歌唱、後半は鑑賞となっております。両者ともだいたい同じ分量だと思います。

豊島会長	その他に質問はありませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変ご苦勞様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。何かご意見はございませんでしょうか。
出席委員	国歌の取扱いについて、教育出版と教育芸術社では、1年の教科書についても、オリンピックのことも踏まえた内容になっているなど、子どもたちが歌えるようになるための工夫として教育出版が充実していると思う。また、全体的にも歌の内容について教出は写真を使い、しっかりイメージ化できるようにしている。例えば、「夏の思い出」で尾瀬の写真が掲載されている。
豊島会長	そのほかに意見はございませんか。
出席委員	なし。
	選 定
豊島会長	それでは、 <ul style="list-style-type: none"> ・国歌「君が代」の扱いが充実している。 ・鑑賞教材で紹介文を扱うなど、言語活動の充実が図られている。 という理由で「教育出版」に決定してよろしいでしょうか。
出席委員	よろしい。
豊島会長	それでは、「音楽一般」については、「教育出版」に決定することを確認したいと思います。
	■ 音 楽（器楽）
	報 告
豊島会長	音楽器楽の教科書見本本の調査研究の結果について説明をお願いします。
工藤小委員長	音楽器楽の説明をします。中学校「音楽器楽」小委員会では、2者の教科書見本について調査研究を行いました。 はじめに「教育出版」です。「取扱内容」については、学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動で、さまざまな和楽器を取り上げ、簡単な楽曲を演奏したり、リコーダーやギターによる重奏曲を演奏したりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する活動が取り上げられています。 「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、楽器の構え方や奏法等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動が取り上げられています。 「内容の排列・構成・分量等」については、内容の構成・排列について、楽器の基本的な奏法や練習曲などを学習する活動の後に、和楽器などの様々な演奏形態による合奏を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっています。内容の分量については、総

ページ数は、前回よりも約8%増となっております。

「使用上の配慮等」については、幅広いジャンルの演奏家の写真とメッセージを巻頭に掲載したり、様々な日本の横笛に関する内容などを扱うなど、生徒の学習意欲が高まるようになっていきます。また、音楽一般同様、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、判別しやすい配色やレイアウト、文字の大きさにするなどの工夫がなされております。

続きまして、「教育芸術社」です。「取扱内容」については、学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動で、さまざまな和楽器を取り上げ、簡単な楽曲を演奏したり、リコーダーやギターによる重奏曲を演奏したりする活動を通して、基礎的な表現の技能を身に付け、創意工夫して表現する活動が取り上げられています。

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、楽器の構え方や奏法等の写真や図を参考にして楽器の奏法を身に付けたり、楽器ごとに簡単な独奏や二重奏を演奏したりするなど、基礎的・基本的な知識・技能を習得する活動が取り上げられています。

「内容の排列・構成・分量等」については、内容の構成・排列について、楽器の基本的な奏法や練習曲などを学習する活動の後に、打楽器などの様々な演奏形態による合奏を行う活動を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるようになっています。内容の分量については、前回と同程度となっています。

「使用上の配慮等」については、幅広いジャンルの演奏家の写真とメッセージを巻頭に掲載したり、各種打楽器に関する内容などを扱い、生徒の学習意欲が高まるようになっています。また、音楽一般同様、ユニバーサルデザインの視点を取り入れ、判別しやすい配色やレイアウト、文字の大きさにするなどの工夫がなされております。以上、音楽器楽の2者に対する説明を終わります。

豊島会長

ただ今の報告を受けて何か質問はございませんか。

出席委員

内容の分量について、教育出版が8%増え、教育芸術社は同じということであるが、なぜそうなったのか教えてほしい。

工藤小委員長

教育出版については、器楽において、創作を取り入れたり、写真が増えているということで、ページ数が増えたと思われまます。

豊島会長

他にご質問はありませんか。

出席委員

なし。

豊島会長

小委員長は大変ご苦労様でした。それではお引き取り下さい。

協 議

豊島会長

ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。何かご意見はございませんでしょうか。

出席委員

教育出版がいいと思います。他者と比べて10ページもの開きがあり、見開きページや運指表など、内容を見ても説明や取り扱い方が充実している。

選 定

豊島会長

それでは、

- ・見開きのページが充実している。
- ・リコーダーの運指表やギターのコード表を掲載するなど、主体的に学習できるよう工夫されている。

出席委員	<p>という理由で「教育出版」に決定してよろしいでしょうか。</p> <p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは、「音楽・器楽」については「教育出版」に決定することを確認いたします。</p>
	<p>■技術・家庭（技術）</p> <p>報 告</p>
豊島会長	<p>「技術」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
北上小委員長	<p>中学校「技術・家庭」小委員会委員長の安平町立追分中学校教頭の北上です。</p> <p>中学校「技術」小委員会では、3者の教科書見本本について調査研究を行いました。各発行者の特徴について説明いたします。</p> <p>まず、東京書籍についてです。「取扱内容」について報告いたします。学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動については、「A材料と加工に関する技術」において、循環型社会や3Rなどの持続可能な社会を実現するための方法を話し合うことを通して、材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解したり、自分で製作した製作品と市販されている製品を複数の観点を立てて比較することを通して、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用したりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、生物育成に関する技術で学習したことをもとに、地域の特産物を調べ、その理由を考えるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列」については、学習内容を14の題材（43の小題材）で構成するとともに、各編について、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を習得した後に、製作や実習を行い、技術の適切な評価・活用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>「使用上の配慮」では、各編の始めに、「この編で学ぶこと」を設けたり、各見開きの下に、「パラパラ写真」と「ひとくちQ&A」を設けるなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されています。</p> <p>次に教育図書についてです。「取扱内容」について報告いたします。学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動については、「A材料と加工に関する技術」において、プラスチックや金属材料の性質と利用のされ方ならびにリサイクルの方法を知ることを通して、材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解したり、最新の電波塔など、材料や加工の新しい技術が日常生活に与える影響を考えることを通して、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用したりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、生物育成に関する技術で学習したことをもとに、コンプレックス（複合）型植物工場を例に生物育成の技術の将来を考えるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列」については、学習内容を10の題材（24の小題材）で構成するとともに各章について、4つの内容に関する基礎的・基本的な知識を習得した後に、製作や実習を行い、これからの技術を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されています。</p> <p>「使用上の配慮」では、各章の始めに、見開きで各内容の「トピック」を設けたり、各節の始めに、その節のねらいと、興味・関心を高める事項を示すなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されています。</p> <p>次に開隆堂です。「取扱内容」について報告いたします。学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動については、「A材料と加工に関する技術」において、製品の設計の意図を話し合うことを通して、材料と加工に関する技術が社会に果たしている役割と影響について理解したり、生活の中で利用されている技術や製品を複数の観点を立てて評価し、問題点や将来望まれ</p>

	<p>る技術を考えることを通して、材料と加工に関する技術を適切に評価し活用したりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、生物育成に関する技術で学習したことをもとに、生活をよりよくするために、生物育成に関する技術を家庭生活に生かす方法を考えるなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列」については、学習内容を 32 の題材（92 の小題材）で構成するとともに、各編について、4 つの内容に関する基礎的・基本的な知識を習得した後に、製作や実習を行い、技術の適切な評価・活用を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるように工夫されています。</p> <p>「使用上の配慮」では、各編の始めに、見開きで各内容に関する「技術の歴史」を設けたり、各見開きの下に「豆知識」を設けるなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されています。</p> <p>以上で報告を終わります。</p>
豊島会長	ただ今の報告について、何か質問はございませんか。
出席委員	技術の実習については、作業の安全の確保が大切であるが、どのような扱いになっているか。あるいは各者の特徴的はどうか。
北上小委員長	作業の安全については、使用上の配慮として、東京書籍については使用上の便宜で安全マーク、衛生マークを、教育図書については、安全マーク、注意マークを、開隆堂については、安全マークを示し、安全に作業できるようにしています。
出席委員	栽培に関して実習があると思うのだが、北海道向けとして挙げられている作物の種類はどのようになっているか。
北上小委員長	教育図書については、北海道に関わる栽培例がなく、これは道の採択参考資料の 9 ページから 10 ページにも述べられています。東京書籍、開隆堂については、ジャガイモや稲の栽培など、北海道に関わる作物が取り上げられています。教育図書については、掲載されている栽培カレンダーについても関東以南に合うような形になっています。
豊島会長	その他、ございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。お引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からご意見を求めますが、何かございませんでしょうか。
出席委員	栽培等で北海道に適した題材を扱っているという点からも、現行の開隆堂がいいと思う。
	選 定
豊島会長	<p>それでは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栽培等で北海道に関連した作物を扱うなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 ・安全マークが付けられて作業の安全に配慮されるなど、生徒が学習しやすいよう工夫されている。 <p>という理由で、「開隆堂」に決定してよろしいでしょうか。</p>

出席委員	よろしい。
豊島教育長	<p>それでは「技術・家庭（技術）」については、「開隆堂」に決定することを確認いたします。</p> <p>■技術・家庭（家庭）</p> <p>報 告</p>
豊島会長	「家庭科」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。
北上小委員長	<p>「家庭科」教科書について、調査研究の報告書に基づき説明致します。中学校「家庭」小委員会では、3者の教科書見本本について調査研究を行いました。</p> <p>東京書籍についてです。「取扱内容」について、学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動については、「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭や家族の機能を知り、中学生にとっての家族について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、「日本の食文化を追求しよう」や「地域の人と触れ合おう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列・分量等」については、日本各地の郷土料理や地域の食材を活用した調理実習を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>「使用上の配慮」では食品の概量を手ばかり・目ばかりで示したり、幼児の靴や箸を実物大の写真で示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせる資料や、「ひとくちQ&A」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど生徒の学習意欲を高めるよう工夫されています。</p> <p>次に教育図書です。「取扱内容」について、学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動については、「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように家族の役割や家族とのかかわり方について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、「だれかのためにお弁当をつくってみよう」や「地域でボランティア活動をしよう」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列・分量等」については、全国各地の郷土料理や日本全国のお雑煮マップを取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>「使用上の配慮」では、食品や子どもの手形などを原寸大写真で示したり、料理の失敗例を示したりするなど学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせる資料や、「コラム」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを示したりするなど、生徒の学習意欲を高めるよう工夫されています。</p> <p>最後に開隆堂です。「取扱内容」についてですが、学習指導要領の目標・内容に基づく学習活動では、「A家族・家庭と子どもの成長」において、これからの家族関係を考えられるように、家庭のはたらきや家庭の仕事を支える社会について考えたり、幼児と触れ合ったりする活動が取り上げられています。</p> <p>「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、「1日3食の献立を立てて食事をつくる」や「1日家事体験」など、学習を通して習得した知識や技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>「内容の構成・排列・分量等」については、地域の食材を活用した郷土料理やおせちなどの行事食を取り上げ、生徒の興味・関心や地域の実態に応じて取り扱う内容を選択できるよう構</p>

	<p>成するなど、発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>「使用上の配慮」では、著名人や専門家の話を掲載したり、実物大の食品例を示したりするなど、学習内容についての課題意識や興味・関心をもたせる資料や、「豆知識」を掲載したり、キャラクターが学習のポイントを促したりするなど、生徒の学習意欲を高めるように工夫されています。</p> <p>以上、報告を終了させていただきます。</p>
豊島会長	ただ今の報告について、何か質問はございませんか。
出席委員	災害に対する対応とか、環境への配慮について、学習指導要領に基づく活動でも取り上げられていると思うが、3者の扱いはどうなっているか。
北上小委員長	まず、東京書籍については、家庭の分野ではなく、技術の分野で巻末にある「災害ハンドブック」で学習できるようになっています。開隆堂については、家庭科で、安全と防災が述べられていて、巻末の部分で実習や作業上の安全や衛生を含めて掲載されています。教育図書については、特定の部分で取り上げているのではなく、エネルギー変化の技術についての様々な内容の部分で取り扱われています。特集として取り上げているのは、開隆堂と東京書籍です。
豊島会長	その他、意見はございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。何かご意見はございませんでしょうか。
出席委員	たとえば、防災に関して言うと、技術と家庭は相互補完的な関係にある。従いまして技術と同一者ということで、開隆堂ということでもいいと思う。
豊島会長	ほかにご意見はございませんか。
出席委員	なし。
	選 定
豊島会長	<p>それでは、中学校・家庭については、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術科と関連を図った指導が行いやすい。 ・環境や防災にも配慮され、4つの内容の記述が充実しており、主体的に学習できるようになっている。 <p>という理由で、「開隆堂」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	よろしい。
豊島会長	それでは「技術・家庭（技術）」については、「開隆堂」に決定することを確認いたします。
豊島会長	それでは休憩に入ります。1時から再開しますので、よろしくお願ひします。

■保健体育

報 告

豊島会長

「保健体育」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。

加藤小委員長

「保健体育」小委員会委員長の豊浦中学校長 加藤です。

「保健体育」教科書見本本の調査研究報告書に基づき、説明させていただきます。

はじめに「東書」について、取扱内容から御説明申し上げます。「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」については、保健分野において、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっております。

- ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対して求めることをチェックしたり、ストレスに適切に対処する方法について考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める活動
- ・「健康と環境」については、部屋の空気が汚れているときの状況を発表し合ったり、水道普及率と水による感染症患者数の変化の理由を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める活動
- ・「傷害の防止」については、地震が起きたときの一次災害や二次災害を話し合ったり、夜間における犯罪被害の危険を予測したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める活動
- ・「健康な生活と疾病の予防」については、健康診断を受ける意義について話し合ったり、薬物の使用を思いとどまらせるための説得の方法を考えたりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める活動

体育分野については、次の学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

- ・互いに楽しむために相手が納得できるようなルール変更を提案し合ったりする活動
- ・自分や友達の経験や資料をもとに、けがをしやすい部位を考える活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深める活動

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、次のような学習活動が取り上げられています。

- ・保健分野において、危険を避け、安全を確保するために、それぞれの自然災害の危険を知り、事前の備えや避難の方法を考える活動
- ・体育分野において、オリンピックに参加した選手数の推移や女性の参加に関する歴史、開催都市の変化を考える活動

「内容の構成・排列」については、次のような工夫がなされています。

- ・保健分野において、小学校で学習した思春期の体の変化を振り返る学習の後に、ホルモンの働きや生殖機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
- ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性を踏まえ、体力向上や運動技能の維持・向上、各器官の機能の発達を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

「使用上の配慮等」において、学習意欲を高める工夫については次のようになっています。

- ・章末資料として、助産師やスポーツ選手のメッセージを掲載している。
 - ・学習を深める「読み物」や「保健体育クイズ」を掲載している。
- 使用上の便宜については、次のようになっている。
- ・巻頭でブレインストーミングやロールプレイングなどの学習方法や留意点を掲載している。
 - ・一単位時間の学習内容のキーワードや解説を掲載している。
 - ・全ての生徒が学習しやすいように、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。

「その他」として、保健編と体育編の排列について、次のようになっています。

- ・保健編と体育編が交互に排列され、履修学年順に並んでいる。

次に「大日本」について、取扱内容から御説明申し上げます。

「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」については、保健分野において、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっております。

- ・「心身の機能の発達と心の健康」については、異性に対する尊重した接し方を考えたり、見方を変えて前向きに取り組む計画を立てたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める活動
 - ・「健康と環境」については、暑いなかで運動するときに気を付けることをまとめたり、学習内容を踏まえ一酸化炭素中毒の事故を防ぐ方法を考えたりする活動を通して、健康と環境の理解を深める活動
 - ・「傷害の防止」については、住んでいる地域で起こりやすい自然災害について考えたり、様々な外傷の応急手当の方法を実習したりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める活動
 - ・「健康な生活と疾病の予防」については、運動不足の影響や運動の効果などを考えたり、飲酒や薬物乱用の明確な断り方について実習をしたりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める活動
- 体育分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。
- ・運動やスポーツが行われるために必要な様々な人々のかかわり方を考えたりする活動
 - ・いろいろな運動やスポーツにおける技術や戦・戦術をそれぞれまとめたりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深める活動
- 「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、次のような学習活動が取り上げられています。
- ・保健分野において、夜間における危険な場所や要因、危険をさける行動など、犯罪被害の防止方法を考える活動
 - ・体育分野において、新体力テストの結果を参考にして、高めたい体力に応じた運動やスポーツの計画を立てる活動
- 「内容の構成・排列」については、次のような工夫がなされています。
- ・保健分野において、小学校で学習した男女の身長伸び方の特徴を振り返る学習の後に、中学生の時期の第2発育急進期を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
 - ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの必要性和楽しさを踏まえ、豊かな人生を送り、よりよく生きる文化としてのスポーツの重要性を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
- 「使用上の配慮等」として、学習意欲を高める工夫については、次のようになっています。
- ・知識を深める関連資料を章末資料として掲載している。
 - ・学習内容に関連した「トピックス」を掲載している。
- 使用上の便宜については、次のようになっている。
- ・各章の最初のページに学習の課題や見通しをもつための学習の流れを掲載している。
 - ・けがを防止するためのポイントを「注意」マークで提示している。
 - ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。
- 「その他」として、保健編と体育編の排列について、次のようになっています。
- ・体育編が前半、保健編が後半に排列され、履修学年順に並んでいる。
- 続いて「大修館」について、取扱内容から御説明申し上げます。
- 「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」については、保健分野において、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっております。
- ・「心身の機能の発達と心の健康」については、年齢による身長の変化について考えたり、成功の経験を通して育まれた自分らしさを話し合ったりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める活動
 - ・「健康と環境」については、環境が健康に悪影響を及ぼしている身近な例を挙げたり、水源の汚染があった場合の健康上の影響を話し合ったりする活動を通して、健康と環境の理解を深める活動
 - ・「傷害の防止」については、倒れている人を見つけたときの適切な行動を考えたり、自分と家族のための防災計画を立てたりする活動を通して、傷害の防止の理解を深める活動
 - ・「健康な生活と疾病の予防」については、たばこの広告のイメージなどを考えたり、薬物の害について話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める活動

体育分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

- ・安静時の自分とマラソンランナーの心拍数の違いについて考えたりする活動
- ・野外活動を安全に行うために行動ごとの危険な状況を予測したりする活動として、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深める活動

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、次のような学習活動が取り上げられています。

- ・保健分野において、特定の食物による食物アレルギーの症状やアドレナリン自己注射薬の使い方など応急手当の仕方を考える活動
- ・体育分野において、種目を決め、仲間を思いやりながら協力して、誰もが納得して楽しめるルールをつくる活動

「内容の構成・排列」については、次のような工夫がなされています。

- ・保健分野において、第1学年体育分野で学習した運動やスポーツの効果を振り返る学習の後に、運動不足の影響や運動と心の健康などを取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫
- ・体育分野において、第1学年で学習した運動やスポーツの学び方を踏まえ、達成感や意欲の向上などの運動やスポーツの心への効果を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫

「使用上の配慮等」について、学習意欲を高める工夫については、次のようになっています。

- ・各単元の初めに学習の動機付けとなる発問を掲載している。
- ・欄外に、その項目に関連したインターネットページを掲載している。
使用上の便宜については、次のようになっている。
- ・巻頭で学習の流れやマークの解説を示した教科書の使い方や学習の方法を掲載している。
- ・図版の中の大事なポイントを吹き出しにして示している。
- ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすいフォントにするなど工夫されている。

「その他」として、保健編と体育編の排列について、次のようになっています。

- ・体育編が前半、保健編が後半に排列され、履修学年順に並んでいる。

最後に「学研」について、取扱内容から御説明申し上げます。

「学習指導要領の目標、内容等に基づく学習活動」については、保健分野において、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっております。

- ・「心身の機能の発達と心の健康」については、望ましい発育・発達に必要なことを話し合ったり、自分の気持ちを上手に伝える言葉や表情を考えたりする活動を通して、心身の機能の発達と心の健康の理解を深める活動
- ・「健康と環境」については、人間の適応能力を超えた環境の例を挙げたり、身近な環境である校内の色々な場所の照度を測定したりする活動を通して、健康と環境の理解を深める活動
- ・「傷害の防止」については、日常生活の様々な場面における危険な要因を予測したり、けが人を発見した場面に通報する実習をしたりする活動を通して傷害の防止の理解を深める活動
- ・「健康な生活と疾病の予防」については、1日の食生活例をもとに改善方法を考えたり、たばこや酒、薬物を誘われたときの断り方を話し合ったりする活動を通して、健康な生活と疾病の予防の理解を深める活動

体育分野については、次のような学習活動を取り上げ、目標を達成できるようになっています。

- ・バスケットボールにおける課題を解決する別の練習方法を考えたりする活動
- ・オリンピック・パラリンピックに対する自分なりのかかわり方を発表し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深める活動

「知識・技能の習得、活用、探究への対応」については、次のような学習活動が取り上げられています。

- ・保健分野において、インターネットの使用について、長時間の使用による疲労やインターネット依存による悪影響を調べる活動

	<ul style="list-style-type: none"> ・体育分野において、スポーツが環境に及ぼす影響や環境の変化がスポーツに及ぼす影響について調べる活動 「内容の構成・排列」については、次のような工夫がなされています。 ・保健分野において、小学校の社会科で学習した公害の原因を振り返る学習の後に、汚染物と健康の影響や対策を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 ・体育分野において、第1学年で学習したスポーツへの多様なかわり方を踏まえ、伸びやかな自己開発の機会などのスポーツの文化的な意義を取り上げるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫 「使用上の配慮等」について、学習意欲を高める工夫については、次のようになっています。 ・各章の扉で、学習内容に関連した職業や資格などを掲載している。 ・学習内容に関連した「コラム」を掲載している。 使用上の便宜については、次のようになっている。 ・巻頭で目標及び活動の内容など、一単位時間の学習の流れや学習方法を掲載している。 ・実習や協働学習など学習活動の種類を掲載している。 ・全ての生徒が学習しやすいよう、判読しやすい図表や配色にするなど工夫されている。 「その他」として、保健編と体育編の排列について、次のようになっています。 ・保健編が前半、体育編が後半に排列され、履修学年順に並んでいる。 以上、報告を終わります。
豊島会長	それではただ今の報告を受けて何か質問はございませんでしょうか。
出席委員	最近の子どもたちを取り巻く問題にはいろいろなものがあるが、そのことで、重要な事項として取り上げている内容には4者どのようなものがあるか。
加藤小委員長	共通に体力の向上が取り上げられています。東書においては、96ページで、互いが楽しむために相手が納得できるようなルール変更を提案し合ったり、104ページで、けがをしやすい部位を考える活動を通して運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深めるなどの活動によって、その目標を達成できるようになっています。大日本については、6ページから8ページでいろいろな運動やスポーツにおける技術や作戦・戦術をそれぞれまとめたりする活動を通して運動やスポーツの多様性の理解を深めるなどの活動により、その目標を達成できるようになっています。大修館については、14ページで安静時の自分の心拍数とマラソンランナーの心拍数の違いについて考えたり、29ページで野外活動を安全に行うために、行動ごとに危険な状況を予測する活動を通して、運動やスポーツが心身に与える効果と安全の理解を深める活動によって、その目標が達成できるようになっています。学研は、141ページでバスケットボールで課題を解決する別の練習方法を考えたり、137ページでオリンピック・パラリンピックに対する自分なりのかかわりかたを発表し合ったりする活動を通して、運動やスポーツの多様性の理解を深め、その目標を達成できるようになっています。
豊島会長	その他、意見はございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変ご苦労様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。何かご意見はございませんでしょうか。
出席委員	本地区では、今までは学研であったが、今回は東京書籍を推したいと思う。理由としては、

	<p>東京書籍の教科書がA判で大きく、内容について充実していること、教科書の構成についても学年順となっていて指導しやすいこと、章末に学習のまとめの問題や学習評価が入っていること。授業でもそうだが、本時の学習の課題が提示されているが、そのような考え方が導入されていること、また、小学校の学習事項が入っていること。地域素材として、壮瞥町のスポーツ選手や室蘭出身の車椅子バスケットボールの京谷選手のことが紹介されていること、また、報告された5つの項目についても内容が充実しているということで、東京書籍の方が優れていると考える。</p>
出席委員	東京書籍の教科書は幅広になったが、体育の授業の際の持ち運びはどうか。
出席委員	他の教科書についてもAB判が出てきており、AB判、B判は違和感ないと思います。
出席委員	違和感はないかもしれないが、持ち運びは問題ないのか。
出席委員	問題はないと思う。
出席委員	4月に検定があった時、東京オリンピック・パラリンピックの開催を控え、オリンピックの内容の部分の扱いが各者どうなっているかが話題となったが、今後の4年間の中でオリンピック、パラリンピックとの関わりについて、夢も含め、各者がその扱いが問題であり、そのことで判断すべきと考える。
豊島会長	具体的にはどういうことですか。
出席委員	具体的にはどこにということではないが、大修館がそのことを強く取り上げていたと思う。大修館の教科書が新聞でも取り上げられていたし、高校の教科書は大修館が多いと承知している。
出席委員	中学校ではそうでもないが、高校では大修館の教科書が多く採用されている。中学生を対象として考えた場合、オリンピックの記述など、果たしてここまで書いていいのかとも思う。
出席委員	東書というご意見がありました。他に何かご意見はありませんか。
出席委員	サイズも大きく、図版が充実しており、体育と保健分野の関連もしっかり図られていること、また、国の重要課題である薬物乱用防止、防災や食育の記述も充実しており、東書が優位という印象を持っている。
出席委員	道の採択資料における10項目の内容の調査報告を見て、現行の学研も遜色はなく、10項目のバランスを欠いているとは思えない。今、このタイミングで変える必要はないと思う。
出席委員	全体的に精査しているわけではないが、ほぼボリューム的に変わらないということで、現行の学研としたいと思う。
出席委員	学研についても、23パーセントが増ページで、充実した部分もあり、内容的には東書と変わらないので、現行の学研としたいと思う。
出席委員	継続性を重視し、学研を推す。
	選 定
豊島会長	それでは、中学校保健体育については、

	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでの継続性を重視する。 ・オリンピック、パラリンピックと自分の関わりを考えさせるなど、多様な内容で学習できるようになっている。 <p>という理由で、「学研教育みらい」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	よろしい。
豊島会長	それでは「保健体育」については、「学研教育みらい」に決定することを確認いたします。
	<p>■理 科</p> <p>報 告</p>
豊島会長	「理科」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。
寺岡小委員長	<p>中学校「理科」小委員会委員長の登別市立緑陽中学校教頭の寺岡です。調査研究の結果を報告いたします。</p> <p>まず東京書籍について、「取扱内容」について報告します。</p> <p>学習指導要領の目標・内容等に基づく学習活動については、第1学年（1分野）において、「半円形レンズを通りぬける光の道筋を調べる実験などの活動を通して、光や音の規則性、力の性質について理解し、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方もつ」学習活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第2学年において、「植物と動物の細胞のつくりの観察についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、物質の質量の比と原子の質量の比について理解するなどの発展的な学習」が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・配列について、第3学年（1分野）「運動とエネルギー」で「物体の運動についての学習の後に、物体に力が働くときの法則についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫」がなされています。</p> <p>学習意欲を高める工夫は、「コラム「科学でGO！」などにおいて、日常生活との関連や科学の話題を紹介し、科学の有用性などを伝えたり（全学年）、有珠山の周辺の市町村が作成した「有珠山火山防災マップ」を紹介したり（3学年）するなど、生徒の学習意欲を高める工夫」がなされています。</p> <p>次に大日本図書について報告します。</p> <p>学習指導要領の目標・内容等に基づく学習活動については、第2学年（1分野）において、「酸化銅から銅を取り出せるか調べる実験などの活動を通して化合、分解などにおける物質の変化やその量的な関係について理解し、これらの事物・現象を原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方もつ」学習活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年において、「鏡に反射した光の進み方を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、日本列島がプレートを押し合っていてできていることについて理解するなどの発展的な学習」が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・配列について、第3学年（2分野）「地球と宇宙」で「太陽や星の1日の動きについての学習の後に、星座の1年の動きについての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫」がなされています。</p> <p>使用上の配慮等については、「生徒がこれまでに学んできたことを確認することができるよう「思い出そう」マークを付し、既習事項を示したり（全学年）、安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、黄色の枠内に注意文を掲載したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られています。</p> <p>学校図書について報告します。</p> <p>学習指導要領の目標・内容等に基づく学習活動については、第1学年（1分野）において、</p>

「音の大小や高低と音源の振動との関係を調べる実験などの活動を通して、光や音の規則性や力の性質について理解し、これらの事物・現象を日常生活や社会と関連付けて科学的にみる見方や考え方をもつ」学習活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第2学年において、「物質を加熱したときの変化を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、体に不要なものをこし取る腎臓の仕組みについて理解するなどの発展的な学習」が取り上げられています。

内容の構成・配列について、第1学年（1分野）「身のまわりの物質」で「温度を変えたときの物質の状態変化についての学習の後に、気体の性質についての学習を扱うなど系統的・発展的に学習できるような工夫」がなされています。

使用上の配慮等については、「生徒がこれまでに学んできたことを確認することができるよう「思い出してみよう」マークなどを付し、既習事項を示したり（全学年）、安全に対して配慮が必要な場面では、該当する箇所に「注意」マークを付し、黄色の枠内に注意文を朱字の太文字で掲載したり（全学年）するなど、使用上の便宜が図られています。

教育出版について報告します。

学習指導要領の目標・内容等に基づく学習活動については、第3学年（1分野）において、「塩化銅水溶液に電流を流したときの変化を調べる実験などの活動を通して、水溶液の電気伝導性や中和反応について理解し、これらの事物・現象をイオンのモデルと関連付けてみる見方や考え方をもつ」学習活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第2学年において、「金属の質量と化合する酸素の質量との関係を調べる実験についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、細胞質の微細な構造について理解するなどの発展的な学習」活動が取り上げられています。

内容の構成・配列について、第1学年（2分野）「大地の成り立ちと変化」で「火山活動や火成岩についての学習の後に、地震と大地の変化についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫」がなされています。

使用上の配慮等については、「巻末の「自由研究」において、自由研究の方法や自由研究のテーマを掲載したり（全学年）、「基礎・基本問題」や「活用・応用問題」などにおいて、学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けたり（全学年）するなど、主体的な学習への工夫」がなされています。

啓林館について報告します。

学習指導要領の目標・内容等に基づく学習活動については、第2学年（2分野）において、「無脊椎動物の体のつくりの観察などの活動を通して、生物の体は細胞からできていることや動物の体のつくりと働き、生物の変遷について理解し、動物の生活と種類についての認識を深める」学習活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第3学年において、「分裂している細胞の染色体の形や位置の観察についてレポートを作成するなどの知識・技能を活用する学習や、電池の一極になる金属はどのように決まるのかについて理解するなどの発展的な学習」活動が取り上げられています。

内容の構成・配列について、第2学年（1分野）「化学変化と原子・分子」で「原子や分子についての学習の後に、化学変化を表す化学式についての学習を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫」がなされています。

使用上の配慮等については、「巻末の「きみも科学者」において、日常生活と関連した課題研究や自由研究のテーマを掲載したり（全学年）、別冊「マイノート」において、本冊の実験・観察を整理する内容と学習内容を復習できる確認問題や活用問題を設けたり（全学年）するなど、主体的な学習への工夫がなされています。

以上で報告を終わります。

豊島会長

ただ今の報告を受けて何か質問はございませんでしょうか。

出席委員	最近、子どもたちの理科離れの傾向があるが、その対応について、何か特徴的な取組があれば教えてほしい。
寺岡小委員長	各者とも、主体的に学習に取り組めるよう、特に自由研究の内容について、どの学年、どの分野についても取り上げられ、掲載されていることが特徴的なことです。
出席委員	今回の中学校の教科書の改訂の中で理科が一番各者の違いがあるように思う。道教委の教科書採択参考資料の8項目についても、量的な違い、全体の総ページ数とか、観察・実験、既習事項との関連、本文単元中の問題数、ページ数とも違いがあるが、調査・研究の中でその点について何か意見がでなかったのか教えてほしい。
寺岡小委員長	その点については、調査はしていません。
出席委員	教科書を見て、東書の教科書は他者と比較し、量的にも少ないように感じたとし、道教委の採択参考資料の各者の項目数を見ても個々の違いがあり、その点は注視すべきと思うが、調査・研究の中では出なかったということですね。
豊島会長	その他、意見はありますか。
出席委員	ボリューム的な面では資料が多いとか巻末の取り方の違いなどがあるが、総体的に見た時に子どもたちが実験するとか、体験的に学習に参加するなど、学習の姿勢から見て各者にはどのような違いがあるのか教えてほしい。
寺岡小委員長	調査委員の先生方が教科書を見て、どの教科書にも同じ内容のものが記載されていて、大きな違いはないということを感じたようです。
出席委員	例えば、ある実験に対しての取組や教材内容の違いはどうか。
寺岡小委員長	一つ一つの実験について調査はしておりません。
豊島会長	他にご意見はございますか。
出席委員	一般的に問題などの巻末資料が多い場合、子どもたちの学習にとってどんなメリットや影響があるのか。各者によって、多いところと少ないところなど、大きな違いがあるように思う。
寺岡小委員長	基礎・基本の定着や活用の力を身に付けさせるという点でどの出版者も章末に問題を付けています。1者だけ、別冊として問題を付けています。
豊島会長	その他、質問はございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	小委員長は大変苦勞様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、1者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。
出席委員	全体的な量の面で各者に大きな違いがある。たとえば単元の問題数にしても最大で327、

最少で189というように明らかな違いがある。主体的な学びを育てる面での項目にしても、57と17というように違いがあるなど、随所に違いがある。各教科書を比較してみたが、現在使用している東書はボリューム的に少ない方に入る。しかし、随所に確かめや応用など、いろんなバリエーションを加え、量的な違いをカバーしながら学びの自立を促すよう工夫している。そのほか、学習の流れを概観する探究の流れを導入している。また、科学的思考力、表現力をつける一連の流れが把握できるようになっている。さらに、生徒が学習においてつまずきやすい学習事項に対して、例題、練習、確認が排列されている。活用の部分についても節ごとに有機的に結びついている。量的には少ないが、学びやすい、活用しやすい教科書として東書が優れていると考える。

豊島会長

他にご意見はございますか。

出席委員

章末の学習のチェックも東書はきちんと押さえられている。「調べよう」から始まり、章末の振り返りも含めて学習のチェックがきちんと示されている。

豊島会長

その他、ございますか。

出席委員

なし。

選 定

豊島会長

それでは、中学校理科につきましては、
・有珠山防災マップを紹介するなど、胆振管内に関連の深い内容で、生徒の学習意欲を高める工夫がなされている。
・「チェック」や「確かめと応用」など、自立的な学びを喚起し、学習を概観できる工夫が見られる。
という理由で、「東京書籍」に決定してよろしいでしょうか。

出席委員

よろしい。

豊島会長

それでは「理科」については、「東京書籍」に決定することを確認いたします。

■社 会（歴史的分野）

報 告

豊島会長

社会・歴史的分野の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。

花田小委員長

中学校「社会 歴史的分野」小委員会委員長の登別市立幌別中学校教頭の花田啓光です。
中学校「社会 歴史的分野」の教科書見本本は、7者ございました。各発行者の特徴についてご説明いたします。
まず初めに東京書籍について報告します。
取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について戦国大名の政策と比較してまとめたり、化政文化の特色について学問、文芸、絵画の分野毎に説明したりする活動が取り上げられています。
知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「この時代の特色をとらえよう」において、時代を大きく動かした出来事を比較表や新聞、年表を用いてまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを短文で表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史の学び方について学習した後に、時代の特

色や流れについて系統的・発展的に学習するよう工夫されています。内容の分量については前回よりも約9%増となっています。

使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について「歴史スキル・アップ」で歴史の学習の仕方を提示したり、確認事項をページ下に配置したりするなど工夫されています。

次に教育出版について報告します。

取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、元禄文化と化政文化の共通点や時代背景の違いについて説明したりする活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「学習のまとめと表現」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する活動が取り上げられています。

内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。内容の分量については前回よりも約2%増となっています。

使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「読み解こう」において、資料の読み取りや考察の仕方を提示する工夫がされています。

次に清水書院について報告します。

取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、演劇、絵画、和歌・俳句の分野毎に説明したりする活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「各章をまとめてみよう」において、時代の流れや文化の特色、世界との関係について年表で整理したり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。内容の分量については前回よりも約1%増となっています。

使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「深めよう」において、まとめ方や考え方のポイントを提示するなど工夫されています。

次に帝国書院について報告します。

取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された観点でまとめたり、化政文化の特色を幕末に文字を読める人の割合から説明したりする活動が取り上げられています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「学習をふりかえろう」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。内容の分量については前回よりも約5%増となっています。

使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「技能をみがく」において、レポートのまとめ方や発表の仕方を提示しています。

次に日文について報告します。

取扱い内容ですが、「近代の日本と世界」において、ペリー来航後、アメリカとの間で結ばれた条約について内容をまとめたり、第一次世界大戦後のヨーロッパとアジアの動きを比較し、世界の変化について説明したりする活動が取り上げられています。

	<p>知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「学習の活用」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、図表にまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを説明したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。内容の分量については前回よりも約4%増となっています。</p> <p>使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「読み取ろう」において、図版の内容を読み取る視点を提示しています。</p> <p>次に自由社について報告します。</p> <p>取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った改革や政策を発表したり、化政文化の特徴を大衆が広く様々な情報を受け取った手段を視点として説明したりする活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「章のまとめ」において、時代の特色を「ひとこと」作文にまとめたり、それぞれの時代の特徴的な出来事の背景等についての意見交換をしたりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。内容の分量については前回よりも約4%増となっています。</p> <p>使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「歴史を学んで」において、様々な歴史の学習方法を提示しています。</p> <p>最後に育鵬社について報告します。</p> <p>取扱い内容ですが、「近世の日本」において、織田信長と豊臣秀吉が行った政治について指定された語句を使ってまとめたり、化政文化の特色を文学、俳諧、芸術、美術の代表的な人物をあげて説明したりする活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応等についてですが、「学習のまとめ」において、時代を大きく動かした出来事を年表や地図、キャッチフレーズにまとめたり、それぞれの時代の特色について考えたことを話し合ったりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列、分量等についてですが、歴史のとらえ方において、歴史の学び方について学習した後に、時代区分毎に、時代の特色や歴史の流れについて学習するなど、系統的・発展的に学習できるよう工夫がなされています。</p> <p>内容の分量については前回よりも約11%増となっています。</p> <p>使用上の配慮等についてですが、主体的な学習への工夫について、「課題学習」において、調査の仕方やまとめ方を提示していています。以上報告を終わります。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受けて、何か質問はありませんか。
出席委員	全ての教科書会社で学習の意欲を高めることが大切だが、特に、胆振の子どもたちにとってアイヌの人たちの歴史や文化を知ることが大切だと考える。各者で、ボリューム的に何か特徴はあるか。
花田小委員長	アイヌの人たちの歴史や文化の記述についての各者の記述は3ページから9ページとなっています。
豊島会長	その他、何か質問はありますか。
出席委員	なし。

豊島会長	<p>それでは大変ご苦労様でした。小委員長はお引き取り下さい。</p> <p>協 議</p>
豊島会長	<p>ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。何か意見はございませんか</p>
出席委員	<p>今の歴史的分野の現行の教科書は教育出版ですね。地理と歴史は同じ発行者のものがよいと思うので、現行どおり教育出版が望ましいと思う。</p>
豊島会長	<p>他に意見はございませんか。</p>
出席委員	<p>なし。</p>
	<p>選 定</p>
豊島会長	<p>それでは、社会・歴史的分野につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイヌの人たちの歴史や文化について、「シャクシャイン像」の写真を取り上げたり、江戸時代末期から明治時代にかけての北海道の開拓の様子を表す写真を取り上げたりするなど、学習意欲を高める工夫がなされている。 <p>という理由で、「教育出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	<p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは「社会・歴史的分野」については、「教育出版」に決定することを確認いたします。</p>
	<p>■国 語</p>
	<p>報 告</p>
豊島会長	<p>「国語」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
渋川小委員長	<p>国語小委員長、厚真中学校長の渋川です。国語の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。</p> <p>「話すこと・聞くこと」の領域では、東京書籍において、第1学年で、具体例を挙げて順序立てて話を組み立てて分かりやすく組み立ててスピーチしたり、相手の話をメモを取りながら聞き、よりよい質問を意識して会話をしたりする学習活動が提示されています。学校図書において、第2学年で、目的や発表時間などの条件に沿って、発表に必要な情報を絞り込んでプレゼンテーションしたり、立場を決めて互いの発言を検討しながらディベートしたりする学習活動が取り上げられています。</p> <p>「書くこと」の領域では、三省堂において、第3学年で、学校や社会の出来事から自分で課題を探し批評する文章を書いたり、自分が選んだ言葉にまつわる作品を集めて形式を工夫して文章にまとめたりする学習活動が取り上げられています。</p> <p>「読むこと」の領域では、教育出版において、第2学年で、描写の効果や登場人物の言動の意味に着目して作品を読み深めたり、疑問に思ったことなどを図書館やインターネットなどを活用して調べたりする学習活動が取り上げられています。</p> <p>「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、光村出版において、第3学年で、作者のものの見方を想像しながら古典を読む学習活動や、和語・漢語・外来語などの使い分けを理解する学習活動が取り上げられています。</p> <p>また、古典については、各者とも、『竹取物語』や『伊曾保物語』などの古典を歴史的仮名</p>

遣いに注意しながら音読する活動や『徒然草』や『枕草子』などの古典を読んで感想を交流し合う活動、歴史的背景に注意しながら和歌を読む活動などが取り上げられています。

取扱内容の二つ目として、知識・技能の習得、活用、探求への対応について調査研究を行いました。東京書籍では「言葉の力」、学校図書では「ついた力を確かめよう」、三省堂では「読み方を学ぼう」、教育出版では「ここが大事」、光村図書では「学習の窓」のコーナーを設け、各社とも、学習したことを振り返り、基礎的・基本的な知識・技能を習得する学習活動が位置付けられています。

次に、内容の構成・排列・分量等について調査研究を行いました。まず、内容の構成・排列につきましては、各社とも、前の学年で身に付けた言語能力を活用する学習活動の後に、当該学年で身に付けるべき言語能力を育成する学習活動が位置づけられるなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

また、北海道にかかわりのある内容については、第2学年で、全ての教科書において石川啄木の短歌が掲載されるなど、各者において取り上げられています。

内容の分量につきましては、学校図書において、前回のA5判から、他者と同様のB5判と大きいサイズになりました。それに伴い、前回と比べて総ページが大きく減少しています。内容面では、「話すこと・聞くこと」領域と「書くこと」領域に入る前に「読むこと」の作品の内容を、表現活動につなぐコラムを設けたり、読書紹介を充実させたりするなどの工夫をする一方で、文法のページを精選するなど、量的には前回と同程度になっています。

他者につきましては、総ページ数について、数パーセントから10パーセント程度の増減となっています。

次に使用上の配慮等について、まず、学習意欲を高める工夫として、日常生活や社会生活に生きて働く言語能力を身に付けるとともに、読書に親しむ態度を養うことができるよう、東京書籍では「学びを支える言葉の力」や「読書案内」、三省堂では「学びを広げよう」や「私の本棚」、光村図書では「学びのチャレンジ」「読んでみよう」を掲載するなどの配慮がなされています。

次に、主体的な学習への工夫として、学び方を確かめるとともに、見通しをもって学習することができるよう、学校図書では「学びの窓」や「学習の見通しを持とう」、教育出版では「みちしるべ」や「ここが大事」を掲載するなどの配慮がなされています。

最後に、使用上の便宜として、各社とも、巻頭に学習目標や教材の構成、身に付けさせたい言葉の力などが掲載されており、使用上の便宜が図られています。

以上報告いたします。

豊島会長

ただ今の報告を受けて、何か質問はありませんか。

出席委員

道教委の採択参考資料でも8項目にわたって調査・研究が行われているが、今回調査・研究をするに当たって、特にこの点に注意を払って見たとか意識を高めて見たというものがあれば教えてほしい。

渋川小委員長

第10採択地区国語小委員会の調査・研究では、学習指導要領の目標、内容等に及び国語の改善の指針に基づいて、適切に指導できるようになっているか、話すこと・聞くこと、書くこと、読むこと、並びに伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項など、三領域一事項の教材が適切かつバランスよく配置しているか、発展的学習、補充的学習、主体的に学習を進めることができるよう、どのような工夫がなされているか、その他伝統的な言語文化としての古典の扱いや読書活動の教材について注意を払って調査・研究いたしました。

豊島会長

その他、ご質問はございませんか。

出席委員

先ほど、主体的な学習の工夫という話がありました、それぞれ教材の最後に学習の手引などがあるが、そのところの各者の押さえや子どもが自学自習する時のしやすさについて、各者どのように扱っているか教えてほしい。

<p>渋川小委員長</p>	<p>全ての発行者において、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう、巻頭、巻末に学習のポイント等を示した資料を掲載しています。東京書籍は、巻末に家庭学習における学習方法などを示しており、学校図書は巻末に学習の進め方を示した「この教科書を使うあなたへ」、三省堂では巻末に具体的な学び方を示した「資料編」、教育出版では補足的な作品や情報収集の方法を示した「言葉の自習室」、光村図書では、補足的な学習や発展的な学習に活用できる資料等を示した「学習を広げる」などのような資料等を掲載しています。</p>
<p>豊島会長</p>	<p>その他、ございませんか。</p>
<p>出席委員</p>	<p>なし。</p>
<p>豊島会長</p>	<p>それでは大変ご苦勞様でした。小委員長はお引き取り下さい。</p>
<p>協 議</p>	
<p>豊島会長</p>	<p>ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。何か意見はございませんか。</p>
<p>出席委員</p>	<p>現在、光村の教科書を使っているが、光村の教科書においては、最初に目次の中で必ずどういう学習をするのかということが領域ごとに示されている。次のページには学習の見通しが示され、様々なことが配慮されている。こういったことを見ると光村の教科書は言葉の力を育むために各領域のバランスが考慮されていると思う。全学年において学びをひらくとか新しい視点、とか言葉をつなぐなど、年間の学習領域を7つで明確に示し、振り返り学習に結び付けている。主な教材構成や学習の流れなど、主体的に学習したり、振り返ったりするために役立つ機能があり、学習者にとっても利用しやすい。また、1年間、どんな学習をするのか、どんな言葉の力を身に付けるのかを細かく説明し、「話す、聞く、書く、読む」を具体的に分かりやすく表にしている。私は光村の教科書が優れた構成をしていると思う。</p>
<p>豊島会長</p>	<p>他にご意見はございませんか。</p>
<p>出席委員</p>	<p>現在、光村を使用していて、教科書のバランスとしてはいいのだが、他の発行者、例えば教出についても見開きのページでどんな学習をするのかについてきちんとした押さえができています。光村と教出を比較し、例えば1年生の「少年の日の思い出」では主体的な学習をどう進めるかでは、教出では「道しるべ」などは、子どもたちが思考する課題の助けとなる。それから、教出の中1の巻末に知里幸恵の「銀の滴降る降る」が復活し、登別市の「銀の滴館」の写真も掲載されている。この教材は登別だけでなく、白老町にとってもアイヌ文化を学ぶ「ふるさと学習」で使える。また、教出では、小檜山博の作品「風少年」の一部ではあるが、発展教材として掲載されているが、北海道の作家の作品、ましてや自伝的小説、滝川の少年時代を取り上げられていて、子どもたちの読書をするための発展教材としていいと思う。また、古典教材の扱いの量的な部分が光村より教出の方が多い。このようなことから、教出を推したい。さらに「名作を味わう」というところで、同じ森鷗外の作品で教出が「最後の一句」、光村が「高瀬舟」を取り上げているが、中3で「高瀬舟」を読むのは難しいと思う。また、小さいことであるが、中1の巻末に小学校6年の漢字が出ているが、光村は用例が出ていないのに対し、教出は用例がでていて、光村をずっと使っているが、再度、教出の方に変えていきたいということ意見を申し上げたい。</p>
<p>豊島会長</p>	<p>従来どおり光村という意見と教出に変えたいという意見が出ましたが、その他、意見はございませんか。</p>

出席委員	<p>「話すこと、聞くこと」の領域で光村の教科書については、日常生活に関わる様々な場面に 対応した教材が取り上げられていて、発想を広げる方法とか、発表や討論とかを丁寧に示し、 知識や技能の習得が図られるようになっている。また、「書くこと」の領域ではフィールド活 動等を実践する中で集めた情報を整理し、レポートをまとめたりするようになっている。この ように日常生活に必要な基礎を養い、主体的に学習できるよう、内容や構成がなされている。 また、教材の出典についても著名人や研究者の書き下ろし作品が多く取り上げられている。読 書に関心を持たせるよう工夫され、加えて小との接続の面でも現行の教科書を継続することが 望ましいと考えている。</p>
出席委員	<p>いろいろなご意見がありましたが、私は継続して光村を選定すべきと考えている。</p>
出席委員	<p>「銀の滴降る降る」が取り上げられたのは、地域としては大変ありがたいが、巻末資料とし てのアイヌ文化に関わる紹介として考えている。また、アイヌ文化については歴史の教科書で 熱心に取り上げていただいている。ここで考えるべきことは、国語としての言語活動、話すと か、そういう分野がどうかということであり、その点で光村は充実していることから、引き続 き光村を採択すべきと考える。</p>
出席委員	<p>私も現行の光村を継続ということをお願いしたい。</p>
出席委員	<p>小学校の時も申し上げたが、光村の取り扱いで内容として難しいところがあるし、また他の 委員さんから出されたように光村の「高瀬舟」については中学生にとっては読み取りが難しい という疑問点もあり、教育出版を推したい。</p>
豊島会長	<p>他の委員の方はいかがですか。</p>
出席委員	<p>光村継続でかまわないと思う。</p>
選 定	
豊島会長	<p>それでは、国語につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校との接続を考えると生徒が学習しやすい。 ・生徒が学びを確かめたり、見通しをもって学習を進めたりできるようになっている。 ・「学習の窓」で学習したことを振り返りなど、主体的に学習できる工夫がされている。 <p>という理由で、「光村図書出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	<p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは「国語」については、「光村図書出版」に決定することを確認いたします。</p>
■社 会（公民的分野）	
報 告	
豊島会長	<p>社会・公民的分野の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いします。</p>
盛本小委員長	<p>社会科（公民的分野）小委員会委員長の 白老町立白翔中学校校長盛本でございます。 公民的分野の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき、説明させていただきます。 まず「東京書籍」についてであります。取り扱い内容については 「私たちと現代社会」に おいて、「持続可能な社会の実現」や「伝統文化の継承と私たち」を取り上げ、地理的分野及 び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、「学校でのトラブル」を取</p>

り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では見開き下の「確認」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列について「現代社会と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回より約15%の増加となっています。

学習意欲を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から人権問題について考察する「アイヌ語弁論大会」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に「教育出版」についてです。「私たちと現代社会」において、「グローバル化・情報化」の影響や自分たちの日常生活が伝統・文化・芸術とともに成り立っていることを写真や資料から理解したり、「マンションの駐車場問題」を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では各領域の「さらにステップアップ」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列について「わたしたちの暮らしと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回より約2%の増加となっています。また、B5判からAB判に変更されております。

学習意欲を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から国際社会で主体的に生きることに興味も持たせるため、「駒大苫小牧高校出身の田中将大君」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に「清水書院」についてです。「私たちと現代社会」において、「少子高齢社会の未来」や「グローバル化」の時代を家族や国際交流の写真や人口の推移、日本の貿易についての資料から理解したり、「平日の体育館の利用方法」を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では巻末の「卒業論文を書いてみよう」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。次に内容の構成・排列・分量等について報告します。

内容の構成・排列について「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回より約3%の増加となっています。

学習意欲を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から人権問題を考察する「平取町のミニFM局によるアイヌ語放送」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に「帝国書院」についてです。「私たちと現代社会」において、「高度経済成長期やグローバル化の進展」を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野などと関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、「マンションの騒音問題」の事例を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では章末の「学習をふりかえろう」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列について「私たちと現代社会」において、現代社会をとらえる見方や考え

方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回より約5%の減少となっています。また、B5判からAB判に変更されています。

学習意欲を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から日本の産業を考察する、「旭川市の農業生産法人」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に「日本文教出版」についてです。「私たちと現代社会」において、「グローバル化する世界で生きる私たち」や「受け継ぎ、創造する日本の伝統と文化」を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野との関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、「合唱の練習場所の割り当て」を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では各領域末の「チャレンジ公民」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。

内容の構成・排列について「現代社会をとらえる見方や考え方」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の編では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回より約4%の増加となっています。また、B5判からAB判に変更されています。

学習を意欲高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から地方自治を考察する夕張市の「図書館の整理をする市職員とボランティア」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

次に「自由社」についてです。「私たちと現代社会」において、「日本の人口ピラミッドの変化」や「文化の継承と創造」を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野などと関連を図りながら写真や統計資料を比較したり、「学校生活での対立と合意」を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では、終章の「課題の探求」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。次に内容の構成・排列・分量等について報告します。

内容の構成・排列について「個人と社会生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

内容の分量については前回と同様となっています。

学習を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から環境問題を考察するため、「阿寒湖周辺のパンケトー地区」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。

最後に「育鵬社」についてです。「私たちと現代社会」において、「少子高齢社会の課題と対応」や「文化の継承と創造」を取り上げ、地理的分野及び歴史的分野などと関連を図りながら写真と比較したり、「クラスでの文化祭」を取り上げ、問題を追究し説明したりする活動が取り扱われています。

知識・技能の習得、活用、探究への対応では巻末の「テーマを決めてレポートを作成しよう」において、学習内容を言語活動を通して表現したりするなど、知識・技能を活用する学習活動が取り上げられています。次に内容の構成・排列・分量等について報告します。

内容の構成・排列について「現代社会の文化と私たちの生活」において、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎を学習した後に、政治、経済を排列し、最後の章では、社会科のまとめとして、持続可能な社会の形成についての課題学習を設定するなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

	<p>内容の分量については前回より約8%の増加となっています。また、B5判からA4判に変更されております。</p> <p>使用上の配慮等について報告します。</p> <p>学習を高める工夫、主体的な学習への工夫、使用上の便宜のうち、北海道の事例から日本の産業構造を考察するため、根室での「サンマの水揚げ」を掲載したりするなど、生徒の学習意欲を高める工夫がなされています。</p> <p>以上、報告終わります。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受けて、何か質問はありませんか。
出席委員	それぞれ、学習指導要領に基づいて記述し、検定を通過しているので大きな違いはないのだろうが、子どもたちが一国民として育っていく時、自らの生活をもとにしながらどのように自分の社会生活を営んでいくかということについて、教材の置き方は各社違いがあるのか。
盛本委員長	そういう面で一番多く取り上げられているのは学校の中でのトラブルで、その他、生活環境でマンションの騒音問題を取り上げている発行者もあります。学校あるいは、家庭生活であったり、自分たちの身近な問題について、考えるようになっていきます。
出席委員	もう一つは教科書検定の後のことだが、選挙の投票権が18歳まで下がるが、そのことで中学校まで下がって考えた場合、現代政治とのかかわりについて、高校へつながる面で、どう扱っているか。
盛本委員長	選挙シュミレーションを取り入れたり、女性の専用車などとも関わらせながら政治について考えさせる内容になっていきます。
出席委員	それは、各者ともそうなっているのか。
盛本委員長	量には違いがあるが、各社とも本文、あるいは資料として載せています。
豊島会長	その他ございますか。それではよろしいですか。
出席委員	よろしい。
豊島会長	委員長は大変ご苦労様でした。それではお引き取り下さい。
	協 議
豊島会長	ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。何か意見はございませんか
出席委員	社会の公民的分野については、地理と歴史の関わりもあり、現行の教出でいいと思う。
豊島会長	現行の教出でいいとのご意見でしたが、その他ございませんか。
出席委員	なし。
	選 定
豊島会長	それでは、社会・公民的分野につきましては、 ・北海道の事例から、国際社会で主体的に生きることに興味をもつよう工夫されている。

出席委員	<p>・「読み解こう」「公民の窓」を設け、主体的に学習できるよう工夫されている。という理由で、「教育出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
豊島会長	<p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは「社会・公民的分野」については、「教育出版」に決定することを確認いたします。</p> <p>■書 写</p> <p>報 告</p>
豊島会長	<p>「書写」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いいたします。</p>
阿部小委員長	<p>中学校「書写」小委員会委員長の伊達市立伊達中学校教頭の阿部です。</p> <p>中学校「書写」の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明させていただきます。中学校「国語」小委員会・種目「書写」では、5者の教科書見本本について調査研究を行いました。</p> <p>まず「東京書籍」についてです。</p> <p>学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動について、毛筆については、第1学年において、点画の連続や省略に注意して書いたり、楷書と行書の筆使いの違いを確かめて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年において、職場訪問の依頼状やお礼の手紙を書くなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列について、第1学年で、楷書と仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>内容の分量について、総ページは、145ページで、前回より約36%増となっています。</p> <p>主体的な学習への工夫について、全学年において、学習の進め方について、「調べよう」、「確かめよう」、「広げよう」の三段階に分けて学習内容や手順を示したり、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に「いろいろな書式」や「書写テストに挑戦!」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっています。</p> <p>「学校図書」についてです。</p> <p>学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動について、毛筆については、第1学年において、筆順や字形に注意して書いたり、仮名と調和させて漢字を書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年で、「確かめよう」において、文学作品の一部を書くなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列について、第1学年で、楷書の仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆使いを取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。内容の分量について、総ページは、122ページで、前回より97%増となっています。</p> <p>主体的な学習への工夫について、全学年において、学習の進め方について、「試し書き」、「練習」、「まとめ書き」、「硬筆で書く」の四段階に分けて学習内容や手順を示しています。また、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるようになっています。</p> <p>「三省堂」についてです。</p> <p>学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動について、毛筆については、第1学年において、点画の変化や連続に注意して書いたり、仮名の字形と筆使いに気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年で、「生活に生かそう」において、行事の目標や本の帯を書くなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられています。</p>

	<p>内容の構成・排列について、第1学年で、楷書と仮名の筆使いと字形を学習をした後に、行書の筆脈を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。内容の分量について、総ページは、118ページで、前回より約31%増となっています。</p> <p>主体的な学習への工夫について、全学年で、学習の進め方について、「考えよう・話し合おう」、「書いて確かめよう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示したり、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「資料編」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされています。</p> <p>「教育出版」についてです。</p> <p>学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動について、毛筆については、第1学年において、点画の筆使いや字形に注意して書いたり、仮名と調和させて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年で、「目的や必要に応じて書こう」において、年賀状を書いたり合唱発表会のプログラムを書いたりするなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列について、第1学年で、楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆脈を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>内容の分量について、総ページは、142ページで、前回より約26%増となっています。</p> <p>主体的な学習への工夫について、全学年で、学習の進め方について、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」の三段階に分けて学習内容や手順を示したり、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に学習事項に関連した教材や資料を集めた「補充教材集」を掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされています。</p> <p>「光村図書出版」についてです。</p> <p>学習指導要領の目標、内容に基づく学習活動について、毛筆については、第1学年において、点画の変化や連続に注意して書いたり、楷書と行書の筆使いの違いに気を付けて書いたりする活動を通して、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書く活動が取り上げられています。</p> <p>知識・技能の習得、活用、探究への対応については、第1学年において、「楷書と仮名のまとめ」において、植物の観察日記の一部を書くなど、実生活との関連を図った活動が取り上げられています。</p> <p>内容の構成・排列について、第1学年で、楷書や仮名の筆使いと字形を学習した後に、行書の筆脈を取り扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。内容の分量について、総ページは、120ページで、前回より約58%増となっています。</p> <p>主体的な学習への工夫について、全学年で、学習の進め方について、「目標」、「学習の窓」、「学習を振り返る」の三段階に分けて内容や手順を示したり、生徒が学習する際の参考にすることができるよう、巻末に「日常の書式」や「活用のヒント」などを掲載するなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるよう工夫がなされています。</p> <p>以上で報告を終了します。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受けて、何か質問はありませんか。
出席委員	書写については、1.2年生が年間20時間、3年生については年間10時間となっていて、教科書の内容量としては多いところで97%増えていて、少ないところでも20数%増えているが、増えていることに対して時間数を変えないということは、教科書の活用という面で何か支障はないのか。
阿部小委員長	小委員会の協議では、そのことには触れられてはいないが、活用の部分で支障が出るということはないと思われる。増えた分は資料が充実したり、学習の仕方の説明が詳しくなっているというのが各社の傾向であり、使いやすい、分かりやすい教科書になっている。
出席委員	資料が充実しているということで、学習意欲を高める工夫がなされていると思うが、書写に

	<p>おいては国語科との関連を図っているということで、各者とも国語科の中で学んだことが書写の教科書の中に活かされていると考えていいのか。</p>
阿部小委員長	<p>はい。</p>
豊島会長	<p>その他、ございませんか。</p>
出席委員	<p>なし。</p>
豊島会長	<p>小委員長は大変ご苦労様でした。お引き取り下さい</p>
	<p>協 議</p>
豊島会長	<p>ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。何か意見はございませんか</p>
出席委員	<p>書写は現在教育出版を使っているが、国語は光村出版となっている。書写の教科書は増量し充実した教材のもとで充実した学習ができる。そういった意味で、どの書写の教科書も、国語の教材を書写の教材に使っている。国語と書写は一体性を持たないと子どもたちの充実した学びにならない。社会についても、地理、歴史、公民は一者にといった配慮がなされている。書写の20時間、10時間といった時間の中で楷書、行書を身に付けていくためには、光村の国語の教科書にあった光村の書写を選定すべきだと思う。</p>
豊島会長	<p>その他、ございますか。</p>
出席委員	<p>小学校の時も国語で、国語との関連で書写もという話が出たが、私はそうでなくてもいいというご意見を申し上げた。確かに、国語との関連があり、流れとしてもそうであるが、中学校の場合、毛筆と硬筆という字に対する学習の意欲化や技能的なことを含めて考えた場合、今までの採択を伝統的に見ても、国語と書写が一体になっている所ばかりではない。国語の光村でやったことが教出の書写で成り立たない訳ではない。具体的に出せば、中学校の書写の時間が学年扱いの中で、国語の中でどういう区切りをもって書写に取り組むかは難しい。その時、書写の教科書の指導計画の扱いの中できちんと扉を設け、学年でどういうことを学習するのかを教出の方が押さえているし、構成がよりしっかりしている。また現場では、毛筆の指導が多くなるが、例えば1年の毛筆の第1教材が教出の場合、実物大の半紙の大きさで出てくる。その手本の扱いでも中央線をどう取っていくかについて、全ての教材で中央線を取っており、書き順を全部示している。そういう指導の在り方の点で書法解説の扱いが教出の方がずっとしっかりしている。硬筆の扱いについても、手紙の書き方の所で、教出の方は本文の押さえ、封筒の押さえが両面開きで示されている。また、細かいことだが、封筒の封印としてメをつけるとか、日付を付けるといった所でも、教出がしっかりしている。更に書法のそりの所で、右のそりはあるが、左のそりが無い教科書があり、指導する時、実質的に手本とする教科書が使いやすい方が文字を書くことへの意欲、文字の書き方の技能が高められるのではないかと。そういうことで、特に国語と一体とするものでもないで、国語と共通させる必要はないと思う。</p>
豊島会長	<p>ただ今、従来どおり、教育出版でいいというご意見が出されましたが、どうでしょうか</p>
出席委員	<p>小学校は国語と書写を一緒にしているのに、中学校は別々にするというのはおかしいという話あるが、実際的には手本とする教科書が使いやすい方がいいので、教出がいい。</p>
出席委員	<p>前回の中学校書写についても議論があり、この2者を中心に見てきたが、中学校の4年前の採択の時は、明らかに教出の方が充実していた印象だが、今回は光村もずいぶん改善されてき</p>

	<p>たように思う。美しい字を正しく書くことは大切なことだが、身に付けた力の活用や学習の発展、自己評価という形で構成されている光村の方が生徒が見通しをもって学習できる。国語との関連を図っている面で、両者とも適切であるが、光村については、文字を整えて書くという技能が日常生活で生きて働く構成になっている。そういうふうに両者が配慮工夫し三年間の単元毎に見通しを持つように工夫されており、甲乙つけ難いが、国語との関連を図るという面で光村の方が好印象である。</p>
出席委員	<p>いろいろな考え方があがるが、4年前の議論や昨年の小学校の議論でもあったが、2者の教科書を比較すると、それぞれに特徴なり、優れている部分があると思う。国語科との関連を図るといことで、昨年の小学校の協議を含めて見直しを図ったので、中学校においても、国語科と同一の発行者という観点で進めるべきで光村という考え方で思っている。</p>
出席委員	<p>昨年の小学校の話でも出ていたが、国語と書写が同一の方がいいという話であったので、中学校も国語と同一の光村がいいと思う。</p>
出席委員	<p>小学校の書写の関連で、ここが問題になると思っているが、国語の教科書を反映して、国語と書写が同一の方がいいので、光村がいいと思う。</p>
	<p>選 定</p>
豊島会長	<p>それでは、書写につきましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国語科と関連を図った指導が行いやすい。 ・単元ごとの学習の見通しがもてるように工夫されている。 <p>という理由で、「光村図書出版」に決定してよろしいでしょうか。</p>
出席委員	<p>よろしい。</p>
豊島会長	<p>それでは「書写」については、「光村図書出版」に決定することを確認いたします。</p>
	<p>■外国語</p>
	<p>報 告</p>
豊島会長	<p>「外国語」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いいたします。</p>
細野小委員長	<p>「外国語」小委員会委員長の登別中学校長の細野です。「外国語」の教科書見本本の調査研究の報告書に基づき、説明させていただきます。6者の教科書見本本について、調査研究を行いました。</p> <p>はじめに、教育出版について、説明いたします。</p> <p>学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では「聞くこと」において、第1学年で、友達の自己紹介を聞いたり、アンケート結果の発表を聞き取ったりする活動が取り上げられています。</p> <p>知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「Project」のページにおいて、伝えたい出来事をまとめミニ英語新聞を作成する学習や、アンケート調査を行い、その結果を発表するなどの発展的な学習が取り扱われています。</p> <p>内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、友達の好きなことを尋ねたり、時刻や時間について問答したりした後に、人や物の数について情報交換したり、過去のことを順序立てて説明したりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。</p>

主体的な学習への工夫では、「Lesson」の文法構造や文法について、例文や日本語訳を付けて説明する「英語のしくみ」を全学年に設けたり、同じく全学年に、辞書を活用して単語の変化を調べる問題を取り上げた「辞書についていっしょに学ぼう！」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

三省堂について、説明いたします。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では、「聞くこと」において、第1学年で、登場人物の状態を聞いたり、店の音声案内の内容を聞き取ったりする活動が取り上げられています。

知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「Project」のページで、将来の夢や将来してみたいことをスピーチする学習や、自分の町の紹介文を基に、ガイドブックを作成するなどの発展的な学習が取り扱われています。

内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、時刻や場所を尋ねたり、物の色や大きさについて説明したりした後に、友達を紹介したり、好きなものとその理由について相手に伝えたりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。主体的な学習への工夫では、複数の「Lesson」の文法事項を整理することができる「文法のまとめ」を全学年に設けたり、同じく全学年に辞書の引き方や単語の覚え方など、学習の仕方を解説する「For Self-study」を設けるなど、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

東京書籍について、説明いたします。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では、「聞くこと」において第1学年で、コマースを聞いたり、交通情報についてのアナウンスを聞き取ったりする活動が取り上げられています。

知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「Presentation」のページにおいて、自分の住んでいる町について地理的な位置や特色を紹介する学習や、自分の好きなことについて簡単な理由を付けて説明するなどの発展的な学習が取り扱われています。

内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、自己紹介したり、一日の生活について友達と発表について質問し合ったりした後に、体験したことを伝えたり、思い出について述べたりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がなされています。

主体的な学習への工夫では、学習するための方法の身に付け方について解説する「学び方コーナー」を設ける工夫がなされています。

学校図書について、説明いたします。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では、「聞くこと」において第1学年で、A L Tの1日の生活の様子についての紹介を聞いたり、友だちの自己紹介を聞き取ったりする活動が取り上げられています。

知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「Capter 4 Project」のページで、自分の宝物についての原稿を書き、友だちの前でスピーチする学習や「Book 2 Project」のページで、自分の町を紹介するなどの発展的な学習が取り扱われています。

内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、複数の人や物について表現したり、数について尋ねたりした後に、今していることを伝えたり、過去の出来事について説明したりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされています。

主体的な学習への工夫では、「Lesson」の文法事項をまとめとして示し、体系的に復習することができる「Check It Out」を設けたり、学年全体の基本文をまとめとして示し、言語材料の振り返りを促すことができる「目標文のまとめ」を設けるなど生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がなされています。

光村図書について、説明いたします。

学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では、「聞くこと」において第1学年で友だちの自己紹介を聞いたり、電話で問い合わせた内容を聞き取ったり、する活動が取り上げられ

	<p>ています。</p> <p>知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「Go for It!」のページにおいて、旅のしおりを作成する学習や、グループで役割を分担して自分の住んでいる町について紹介するなどの発展的な学習が取り扱われています。</p> <p>内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近なものを英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、身近な人や物を紹介したり、物の場所を尋ねたりした後に、現在していることを伝えたり、過去の出来事について説明したりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫がされています。</p> <p>主体的な学習への工夫では、主体的に学習に取り組むことができるような工夫では、「Unit」の文法事項を横断的にまとめとして示し、言語活動を通して確認できる「Language Focus」を設けたり、辞書の使い方や長い英文の読み方など、英語の学習方法を紹介する「Your Coach」を設けていて生徒が主体的に学習できるような工夫がなされています。</p> <p>開隆堂について、説明いたします。</p> <p>学習指導要領の目標、内容等に基づく学習内容では、「聞くこと」において第1学年で、学校までの交通手段について聞いたり、インタビューをして知りたい情報を聞き取ったりする活動が取り上げられています。</p> <p>知識・理解の習得、活用、探究への対応では、第2学年において、「My Project」ページにおいて、場面や、登場人物、話題を踏まえたスキットをつくって発表する学習や、あったら便利な商品のコマーシャルを作成するなどの発展的な学習ができるように工夫されています。</p> <p>内容の構成・排列については、第1学年で、小学校外国語活動において学習した挨拶をしたり、身近な物を英語で言ったりするなどの内容を踏まえ、自分の好きなことを言ったり、相手に何をするか尋ねたりした後に、自分ができるとを伝えたり、今、していることや過去にしたことを述べたりする内容を扱うなど、系統的・発展的に学習できるような工夫されている。また、Program 7では釧路や室蘭沖などで行われているシャチウオッチングを題材として取り上げられています。</p> <p>主体的な学習への工夫では、複数の「Program」の文法事項をまとめることができる「英語のしくみ」を全学年で設けていたり、辞書を用いた問題を取り上げる「辞書を引いてみよう」、「辞書を読んでみよう」、「辞書を使いこなそう」を設けたりして、生徒が主体的に学習に取り組むことができるような工夫がされています。</p>
豊島会長	ただ今の報告を受けて、何か質問はありませんか。
出席委員	英語については、小学校の外国語活動との関わりで扱われていると思うが、その中で特徴的なことはあるのか。
細野小委員長	小学校で既習した事項を中学校1年生で重点的に置くように工夫されています。また、導入段階では文字を書くことが得意でないことへの配慮としてイラストを多用するなどの工夫が見られます。
出席委員	コミュニケーションを活発にするというか、豊かにするという点で各教科書の配慮はどうか。
細野小委員長	各教科書とも、プログラムごとのまとめに学んだことを使って活動する場面があります。
豊島会長	その他、ございませんか。
出席委員	なし。
豊島会長	それでは小委員長さんはありがとうございました。お引き取り下さい。

協 議

豊島会長

ただ今の報告と質問に対する回答を参考にしながら、一者選定の協議を行います。委員の皆様からのご意見をお願いします。何か意見はございませんか。

出席委員

学習の到達目標とか、目標をもって学習するとかということ、例えばキャン・ドゥリストを使い、リストに対応して生徒が自ら評価できるようにしており、コミュニケーション活動についても、どの教科書についても、大差はないということで、現在使っている開隆堂でいいと思います。

豊島会長

その他、意見はございませんか。

出席委員

なし。

選 定

豊島会長

それでは、ただ今ご意見があったように外国語については、
・巻末に「英語でできるようになったリスト」などを設け、学習を振り返ることができるよう工夫されている。
・英語の歌を取り上げたり、伝統文化を取り上げるなど、学習の意欲化を図る工夫がなされている。
という理由で、「開隆堂出版」に決定してよろしいでしょうか。

出席委員

よろしい。

豊島会長

それでは「外国語」については、「開隆堂出版」に決定することを確認いたします。

■特別支援教育

報 告

豊島会長

「特別支援教育」の教科書見本本の調査研究の結果について、説明をお願いいたします。

田仲小委員長

「特別支援教育」小委員会委員長の伊達市立星の丘中学校教頭の田仲です。特別支援教育委員会の教科書見本本について、調査研究の報告書に基づき説明します。

特別支援教育小委員会では、「国語」5者、「算数」5者、「音楽」5者の教科書見本本について調査研究を行いました。

教科ごとに2冊について「取扱内容及び使用上の配慮事項等」を報告します。

『国語』は『くまたんのはじめてシリーズよめるよ よめるよ あいうえお』と『もじ・ことば11 はじめてのかん字』の2冊です。

『くまたんのはじめてシリーズよめるよ よめるよ あいうえお』は、こぐまのくまたんを主人公にして、挿絵を見ながら、五十音の読み方を学習するよう考慮されています。単文に即した場面を見開きで構成し、挿絵を見ながら言葉の指導ができるよう配慮されています。文字の大きさは適切であり、絵は明るい色彩で描かれているなど、興味・関心を高めるよう工夫されています。

『もじ・ことば11 はじめてのかん字』は、漢字の学習の導入段階の学習帳として、小学校1年生の配当漢字80字の中から、意味が分かりやすく書きやすい漢字30文字が編集されています。挿絵や文の中に漢字を適切に配置し、効果的に漢字の学習ができるように配慮されています。巻末には漢字練習盤が付いており、生徒が興味をもって、繰り返し練習できるよう工夫されています。

『算数』は『五味太郎の絵本 かずのえほん1・2・3』と『音の出る知育絵本16 とけいがよめるようになる！！とけいくん』の2冊です。

『五味太郎の絵本 かずのえほん1・2・3』は、主人公を動物にしているところが生徒の興味を引きつける絵本であるという特徴をもっています。数の大小・配列・加法を段階的に扱い、最後まで数への関心を引きながら発展的な学習ができるよう配慮されています。視覚的にやさしく絵や数字が見やすいなど、生徒にとって理解しやすく関心をもてるよう工夫されています。

『音の出る知育絵本16 とけいがよめるようになる！！とけいくん』は、時計の仕組みや時刻の読み方について、付属の時計教材を実際に操作しながら学習することができるという特徴をもっています。左ページでは時計の仕組みや時刻の読み方を説明しています。右ページは時計教材を配置し、操作ができるよう配慮されています。時計教材には音声で時刻を知らせる装置が付いており、楽しみながら時計の学習ができるよう工夫されています。

『音楽』は、『たのしい てあそびうたえほん』と『ママとうたおう やさしいメロディーピアノ』の2冊です。

『たのしい てあそびうたえほん』は、31曲の手遊び歌で構成され、見開き2ページに1曲ずつの構成という特徴をもっています。大きな歌詞、主旋律の楽譜とともに歌遊びの動作が解説され、楽譜にコードが付いている曲もあるなど、配慮されています。歌遊びの解説は、歌詞に従って、分かりやすい絵と具体的な動きで示されているなど、工夫されています。

『ママとうたおう やさしいメロディーピアノ』は、童謡から人気のあるアニメの主題歌まで39曲が掲載されており、生徒が楽しみながら取り組めるという特徴をもっています。楽譜が読めなくても、色の識別で鍵盤の色と対応しているため、弾くことができるよう配慮されています。見開きで楽しい絵と楽譜、キーボードと一緒に収められており、生徒の興味・関心を高めるよう工夫されています。

以上で、特別支援教育小委員会の報告を終わります。

豊島会長

ただ今の報告を受けて、何か質問等ございませんか。

出席委員

なし。

豊島会長

それでは委員長さん、ありがとうございました。お引き取り下さい。

豊島会長

それでは報告を受けて何かご意見はございませんでしょうか。

豊島会長

「特別支援教育」につきましては、生徒の障害の種類や程度に応じ、各市町教育委員会が採択することになっていますので、よろしいでしょうか。

豊島会長

以上で、全ての種目について協議・選定を終了しましたので、一度事務局にお返しします。

事務局
(天野課長)

それでは、全ての協議・採択が終了しましたので、決定した教科用図書を確認いたします。

選定結果の確認

それでは、別紙の採択結果の順に従い、確認いたします。
美術については、光村図書でございます。
数学については、東京書籍でございます。
社会・地理的分野については、教育出版でございます。
地図については、帝国書院でございます。
音楽・一般については、教育出版でございます。
音楽・器楽については、同じく教育出版でございます。
技術については、開隆堂でございます。
家庭については、同じく開隆堂でございます。
保健体育については、学研教育みらいでございます。
理科については、東京書籍でございます。
社会・歴史的分野については、教育出版でございます。
国語については、光村図書でございます。
社会・公民的分野については、教育出版でございます。
書写については、光村図書でございます。
外国語については、開隆堂でございます。

以上でございます。

豊島会長

それでは、「平成27年度教科書」展示会における意見等について」事務局からお願いします。

事務局
(天野課長)

各市町で開催いたしました教科書展示会で寄せられた意見を集約したところ、3市町で意見がありました。内容は主に社会科歴史の憲法やアイヌの人たちの記述に関するものが多く、他には英語や家庭科の北海道にかかわりのある記述に関するものなどがありました。

豊島会長

本日予定していた議事につきましては、以上をもちまして終了いたしました。